

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な履修科目						備考				
						1 学 年		2 学 年		介護職員 初任者研修	介護福祉士 受験	社会福祉士 編入	メディカル クラーク	目商P C検定3級	介護予防運 動スペシャ リスト		インストラク ション	社会福祉主 事任用		
						前期	後期	前期	後期										必	選
専 門	医療的 ケア	医療的ケアⅠ	講	4	西 井				4				◎							
		医療的ケアⅡ	演	1	西井・石橋・ 松居								◎							
	福 祉 ビ ジ ネ ス 分 野		福祉ビジネスⅠ	講	1	吉牟田			2						○					
			福祉ビジネスⅡ	講	1	吉牟田			2						○					
			医療事務概論	講	2	西井・(小野)			2						○					
			介護事務概論	講	2	西井・(松島)				2					○					
			情報処理演習	演	1	吉牟田				2					○	◎				
			医療・福祉とICT	講	2	吉牟田									○					
			診療報酬Ⅰ	演	1	西井・(小野)									○					
			診療報酬Ⅱ	演	1	西井・(松島)									○					
			医療秘書実務	演	1	西井・(石黒)				2					○					
		富山型福祉特別講義	講	2	関()									○						
	インターンシップ	演	1	専任全員				*					○							
科 目	ソー シ ャ ル ワ ー ク 分 野	社会保障論	講	2	関				2				◎					○		
		児童家庭福祉論	講	2	(佐原)									○				○		
		地域福祉論Ⅰ	講	2	関									○				○		
		地域福祉論Ⅱ	講	2	(森脇)									○						
		相談援助の理論と方法Ⅰ	講	2	関・(村上)				2					○				○		
		相談援助の理論と方法Ⅱ	講	2	関・(村上)									○						
		相談援助演習	演	2	関・(室林)									○						
		キ ャ リ ア	介護福祉総合演習Ⅰ	演	1	専任全員				2										
			介護福祉総合演習Ⅱ	演	1	専任全員														
			キャリアデザイン演習	演	1	西 井				2										
総合的研究	演	2	専任全員				2													
	小 計		32	69			20	0	15	14	8	33	0	36						
	計		42	76			34	4	16	16	8	37	0	36						

※調整あり

履修上の注意

- 介護福祉士資格
 - 資格取得に必要な単位を取得した者は、介護福祉士国家試験の受験資格を取得できる。
 - 区分「人間と社会」の人間と社会に関する選択科目○印の7科目のうち5単位以上(120時間以上)を選択する。
 - 区分キャリア「介護福祉総合演習Ⅰ・Ⅱ」は、受験対策に必要な科目のため履修することが望ましい。
 - 介護福祉士国家試験に合格した者が介護福祉士となるには、厚生労働大臣指定登録機関(財)社会福祉振興・試験センターに登録申請しなければならない。
- 社会福祉士受験資格取得のための編入
 - 社会福祉士の受験資格取得のため編入学を目指す者は、介護福祉士指定科目以外にソーシャルワーク分野の科目を履修することを推奨する。
- 社会福祉主事任用資格
 - 印の科目のうちから3科目以上の単位を取得して卒業した者は、社会福祉主事任用資格を取得することができる。
- 介護職員初任者研修修了(旧ヘルパー2級)
 - 介護福祉士資格取得に必要な科目の一部を履修する(科目の読替え)ことで取得することができる。
 - 修了評価は、初任者研修に関する全科目の終了後に、試験を実施し合格した場合に認定する。
- レクリエーションインストラクター
 - 印の科目の全科目の単位を取得して卒業した者は、レクリエーション・インストラクター資格を取得することができる。
 - 「レクリエーション概論」「レクリエーション活動援助法」については、土・日曜日の学外行事に参加しなければならない。
- メディカルクラーク、ケアクラークの資格
 - 推奨科目を履修し、一般財団法人日本医療教育財団による医療事務技能審査試験、ケアクラーク技能認定試験に合格する。
- 介護予防運動スペシャリストは、指定科目を履修し、レポート審査を経て認定される。

なお、資格取得を目指さない場合においても、福祉ビジネス分野、ソーシャルワーク分野の科目を履修することができる。

授業科目名	医学一般			科目コード	W111-10				
科目区分	専門科目 - ところとからだのしくみ - ところとからだのしくみ		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	医学一般III					
関連科目	医学一般II								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）と機能（生理学）を知り、生体機能を維持するために各器官がどのように機能分担して働いているかを理解する。								
学習目標	介護技術の基礎となる人体の構造や機能の基本的知識を習得し、理解する。また、介護サービスにおける安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。								
キーワード	解剖、生理、生命、ヒト、遺伝、細胞、臓器、医学								
テキスト・ 参考書等	佐藤昭夫、佐伯由香著 人体の構造と機能 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能を説明できる。								
LO-2									
LO-3	分子・遺伝子レベル、細胞レベル、臓器レベルで、ヒトの成り立ちを考えることができる。								
LO-4	人体の構造と働き、さらには人間社会の成り立ちの基本がわかることにより、社会的能力の必要性がわかる。								
LO-5	授業を通して、自分自身を含め、人間が自然の ” 理 ” の中で生きていることを理解できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 身体の構造と仕組みについての知識度と理解度で判定します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	からだのしくみの理解 オリエンテーション、生命とは、進化論に基づくヒトのなりたち	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	600分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	からだのしくみの理解 遺伝子によるタンパク質合成のしくみ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	90分
第3回	からだのしくみの理解 運動系 骨、骨格、関節	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	からだのしくみの理解 運動系 筋(骨格筋と平滑筋)、ヒトの運動の仕組み	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	からだのしくみの理解 神経系 構造と働き、大脳皮質の機能の概要	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	からだのしくみの理解 神経系 自律神経、感覚 感覚受容の仕組み、感覚の種類	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	からだのしくみの理解 感覚 視覚、聴覚の働き	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	からだのしくみの理解 循環系 心臓の構造と機能、血液およびリンパ液の流れ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	からだのしくみの理解 血液 血液の成分、赤血球・白血球(免疫)・血小板の働き	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	からだのしくみの理解 体液 組成・水分の出納バランス、呼吸器系 肺の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	からだのしくみの理解 消化器系 消化器官の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	からだのしくみの理解 代謝 栄養素と代謝	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	からだのしくみの理解 泌尿器系 腎臓 尿の生成・排泄の仕組み	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	からだのしくみの理解 体温調節 核心温・体温調節の仕組み、生殖と老化 生殖器の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	からだのしくみの理解 内分泌(ホルモン)系 内分泌臓器の種類、構造、機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	300分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人体を構成している各組織や器官の構造と機能を詳細に習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能をかなり習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能をよく習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能を一定程度に習得・理解している。	人体を構成している各組織や器官の構造と機能をほとんど習得・理解していない。
LO-2					
LO-3	様々な機能を持つ一細胞が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを十分に理解している。	様々な機能を持つ一細胞が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかをかなり理解している。	様々な機能を持つ一細胞が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかをよく理解している。	様々な機能を持つ一細胞が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを一定程度に理解している。	様々な機能を持つ一細胞が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかをよく理解していない。
LO-4	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、社会的能力について質問がない
LO-5	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、自然の理について質問がない

授業科目名	医学一般			科目コード	W111-11				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - こととからだのしくみ		担当教員名	西井 啓子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校までに習得した身体の構造や働きに関する基本的な知識		後継科目	医学一般					
関連科目	医学一般、生活支援技術、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修修了科目、介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格指定科目（選択）								
授業の概要	日常生活を送るために欠かせない基本的な行動（動作）に関することとからだのしくみを理解する。								
学習目標	1. からだとこととからのしくみを全体的に概説できる。 2. 睡眠、移動、食事等の日常生活動作の基本的な仕組みを説明できる。								
キーワード	からだ、ことと、解剖・生理、日常生活、機能低下								
テキスト・ 参考書等	小坂橋喜久代他編 「最新介護福祉全書 12 こととからだのしくみ」メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	からだとこととからのしくみを理解し、睡眠、移動、食事等の日常生活に必要な行為の基本的な仕組みに関する知識を有する。								
LO-2									
LO-3	生活支援がどこにどの程度なぜ必要かを判断する能力を有する。								
LO-4	こととからだのしくみを学ぶことに対して熱心に意欲を持って臨むことができ、積極的に発言することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	40				10			100
LO-1	50	20							70
LO-2									
LO-3		20							20
LO-4						10			10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、第1章「生きている」しくみの理解 からだの成り立ちの理解、Aからだの形と臓器の場の理解、B細胞・組織・器官・器官系から人のからだへ P2～P14	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第2回	第1章「生きているしくみ」の理解 生命活動を調節するしくみ、Aからだの中を安定した状態（恒常性）に維持するしくみ、B内臓機能と自律神経の働き	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第3回	第1章「生きているしくみ」の理解 C呼吸と循環のしくみ P14～27	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第4回	介護に関するからだのしくみの理解 初任者研修 第2章 ころのしくみの理解 脳のつくりと働きの理解 A生命維持、B感情、欲求、C思考・判断・創造、ころと脳のつながり（感覚・知覚・認知のしくみ）P53～P67	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第5回	介護に関するからだのしくみの理解 初任者研修 第2章 ころのしくみの理解 人間の行動を引き起こすころのしくみ（動機づけ、感情のしくみ）、社会的人間としてのころのしくみA自分を守るころのしくみ（適応行動、阻害要因）、自己概念、P75～93	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第6回	介護に関するからだのしくみ 初任者研修 からだの成り立ちの理解第1章「生きている」しくみの理解、Aからだの形と臓器の場の理解、第4章「活動・移動」に関連したころとからだのしくみ（骨・関節・筋に関する基礎知識、ボデイメカニクスの活用）	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第7回	介護に関するからだのしくみ 初任者研修 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第8回	介護に関するからだのしくみ 初任者研修 自律神経系と内臓器官に関する知識（循環器系、呼吸器系、消化器系、排泄器系、内分泌器系、骨・関節・筋肉系）	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第9回	介護に関するからだのしくみ初任者研修 ころとからだを一体的に捉える、利用者の様子と普段の違いに気づく視点	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分
第10回	第4章「活動・移動」に関連したころとからだのしくみ p154～172	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	60分

第11回	第3章「身じたく」に関連したところからだのしくみ p 114～130	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本講義を振り返りわからないところをまとめる	90分
第12回	第12章「食事」に関連したところからだのしくみ p183～207	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】自然の排泄を妨げる要因をまとめておく。	60分
第13回	第7章「排泄」に関連したところからだのしくみ テキストP257～284	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】排泄のメカニズムについてまとめる。	60分
第14回	第6章「入浴・清潔保持」に関連したところからだのしくみ p 231～246	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】入浴のトラブルについてまとめておく。全体を振り返り、まとめの時間に質問する。	120分
第15回	まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	体や心のメカニズムを理解し、機能低下のおこる要因や症状に関する知識を十分にもっている。	体や心のメカニズム、機能低下の要因をだいたい知っている。	体や心のメカニズム、機能低下の要因をある程度知っている。	体や心のメカニズム、機能低下の要因をあまり知らない。	体や心のメカニズムや機能低下の要因をほとんど知らない。
LO-2					
LO-3	学んだ知識を活用して、事例の生活支援の必要性を判断できる。	学んだ知識を活用し、事例の生活支援の必要性をある程度判断できる。	学んだ知識を活用し、事例の生活支援の必要性をだいたい判断できる。	学んだ知識を活用し、事例の生活支援の必要性を少しは判断できる。	学んだ知識を活用し、事例の生活支援の必要性をほとんど判断できない。
LO-4	授業態度が真面目で、質問をしたり、受講カードの記入が適切である。	授業態度が真面目で、質問をしたり、受講カードへの記入がだいたいおこなわれている。	授業態度が真面目で、質問をしたり、受講カードへの書き込みがある程度おこなわれている。	授業態度が熱心ではなく、質問をしたり、受講カードへの記入があまりおこなわれていない。	授業態度が熱心でなく、質問がほとんどない。受講カードの記入がない。
LO-5					

授業科目名	心理一般			科目コード	W111-20				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - こととからだのしくみ			担当教員名	樋口 康彦				
開講時期	1年後期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目	なし				
関連科目	コミュニケーション論、人間の尊厳と自立								
資格等 取得との関連									
授業の概要	現代ほど人間の心理とそれが導き出す様々な行動のメカニズムが注目されている時はない。本講義では心理学の概論書に必ず出てくる基本事項について日常生活で体験する様々な出来事を例に挙げながら、できるだけ平易に説明していく。								
学習目標	心理学の入門書に記載されているような基本事項、性格、感覚、記憶などについて基本的な事柄を理解し、日常生活に役立てられるようにする。								
キーワード	性格、知能、記憶、学習								
テキスト・ 参考書等	特になし。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	心理学の基本的な分野である欲求、知能、性格、感情、学習、記憶、認知と思考、感覚、知覚について理解する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		10			30			100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	60		10			30			100
備考	Aの30は授業態度とする。 レポートは採点后、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。心理学とは何か。心理学の研究対象および心理学の研究方法について。	
	【予習】シラバスを読んで授業の内容について確認する。	30分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	60分
第2回	欲求・動機づけ。欲求のメカニズムと種類について。	
	【予習】欲求および動機づけについて、本や心理学辞典などで調べる。	60分
	【復習】欲求のメカニズムについて考える。	60分
第3回	欲求・動機づけと行動。欲求充足のメカニズムについて。	
	【予習】欲求・動機づけと行動について、本で調べる。	80分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分
第4回	知能とは何か。知能の測定法および知能と創造性。知能に影響を与えるのは遺伝か環境か。	
	【予習】知能について、本や心理学辞典などで調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第5回	性格について。性格研究の歴史的展望および性格の測定方法。	
	【予習】性格研究の歴史的展望を、本や心理学辞典などで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第6回	性格形成の要因(1)。遺伝か環境か。	
	【予習】性格形成における遺伝と環境の影響について本やインターネットを用いて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第7回	性格形成の要因(2)。性格形成における社会的要因について。	
	【予習】性格形成における社会的影響について本やインターネットを用いて調べる。	60分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	60分
第8回	感情について。喜怒哀楽。感情のモデルおよび現代の感情理論について。	
	【予習】感情喚起のモデルについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第9回	学習について。レスポナント条件づけとオペラント条件づけ、学習の形成、モデリングなど。	
	【予習】学習成立の条件について考える。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第10回	記憶(1)。記憶の種類および記憶のメカニズムについて。	
	【予習】記憶のメカニズムについて考える。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分

第11回	記憶(2)。記憶の忘却と変容および効果的な記憶法について。	
	【予習】記憶の忘却と変容について本で調べる。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分
第12回	認知と思考。脳の中での複雑な情報処理および心的イメージについて。	
	【予習】心的イメージについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第13回	感覚について。刺激と五感について。	
	【予習】五感の働きについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第14回	知覚(1)。図と地および錯覚について。	
	【予習】様々な錯覚が生じる原因について調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第15回	知覚(2)。形・空間の知覚について。後期テストについての説明。	
	【予習】ヒトが形・空間を知覚する時の特徴について調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5	心理学の基本事項についての理解が非常に高いレベルできている。	心理学の基本事項についての理解が十分にできている。	心理学の基本事項についての理解がまずまずできている。	心理学の基本事項についての理解が最低限できている。	心理学の基本事項についての理解が不十分である。

授業科目名	ターミナルケア論			科目コード	W111-50				
科目区分	専門科目 - ところとからだのしくみ - ところとからだのしくみ		担当教員名	西井 啓子 金山 ひとみ					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W113-10				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 発達と老化の理解			担当教員名	西井 啓子				
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)	特になし			後継科目	医学一般 、 心理一般				
関連科目	医学一般 、 医学一般 、 心理一般								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 初任者研修修了								
授業の概要	発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得し、高齢者の健康について学習する科目である。								
学習目標	人間の成長と発達の基礎を理解する。 老年期の発達と成熟を理解する。 老化に伴うことごとからだの変化を理解する。								
キーワード	成長と発達 発達理論 老化 高齢者の心理 高齢者に多い症状・病気								
テキスト・ 参考書等	「発達と老化の理解」林 泰史編 メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	成長と発達の考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を有している。また、老化に伴うことごとからだの変化と日常生活や高齢者に多い病気や症状に関する基本的な知識を有している。								
LO-2									
LO-3	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えを発表することができる。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応すればよいかを考えることができる。								
LO-4	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢がある。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	20		10	10			100
LO-1	40	20							60
LO-2									
LO-3			10		10				20
LO-4			10			10			20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 人間の成長と発達、発達理論、形態的成長、身体機能の発達、精神運動機能の発達、心理社会的発達 P1～31	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】本時を振り返りノートを整理する	30分
第2回	第1章 成長と発達の原則、成長発達に影響する因子、発達理論	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時を振り返りノートを整理する。	30分
第3回	高齢者の生き様から考える これからの老年観 GW	
	【予習】90歳以上の高齢者で著名な人のリストを上げる。	30分
	【復習】グループで原稿を作成する。	90分
第4回	高齢者の生き様から考える これからの老年観 GW発表 今日の老年期をめぐる問題 P49～59	
	【予習】グループで発表の準備をする。	30分
	【復習】老年観を整理する。	30分
第5回	第3章 ライフサイクルのなかの老年期 P62～95	
	【予習】該当箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第6回	第4章 老化に伴うこととからだの変化と日常生活 老化の特徴 身体的機能の変化と日常生活への影響 P98～120	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第7回	第4章 老化に伴うこととからだの変化と日常生活 知的・認知機能の変化と日常生活への影響、精神機能の変化と日常生活への影響、精神機能の低下の予防 P121～126	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	30分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第8回	老化に伴うこととからだの変化と日常生活 初任者研修 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴老化に伴うこととからだの変化と日常（防衛反応の変化、喪失体験）、知的・認知機能の変化と日常生活への影響、精神機能の変化と日常生活への影響、精神機能の低下の予防 P121～126	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	老化に伴うこととからだの変化と日常生活 初任者研修 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響（身体的機能の変化、咀嚼機能の変化、筋・骨・関節の変化、体温維持機能の変化、精神機能の変化） 老化の特徴 身体的機能の変化と日常生活への影響 P98～120	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第10回	高齢者と健康 初任者研修 高齢者の疾病と生活上の留意点（骨折、筋力の低下と動き・姿勢の変化、関節痛） 第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い症状と日常生活における留意点 P174～P196	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分

第11回	高齢者と健康 初任者研修 高齢者に多い病気とその日常生活の留意点(循環器障害、老年期うつ病、誤嚥性肺炎、など) 第4章 老化に伴うところからたの変化と日常生活 身体機能の低下の予防、第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い病気と日常生活での留意点P197~229	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第12回	第5章 高齢者の心理 高齢者の気持ちを理解するには、高齢者の様々な気持ち、高齢者の気持ちを踏まえたかわり 高齢者のイメージ、高齢者の心身機能の個人差、老性自覚、役割の喪失、障害を受けとめる高齢者の気持ち P139~171	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第13回	第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い症状と日常生活における留意点 廃用症候群、老年症候群、かゆみ、不眠、発熱、脱水など P176~196	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第14回	第6章 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い病気と日常生活での留意点 糖尿病、動脈硬化症、心筋梗塞、高血圧などP197~228	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第15回	第6章 要介護高齢者にかかわる介護福祉士と保健・医療職との連携 P 229~242	
	【予習】該当する箇所を読んでくる。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	成長と発達ของ考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を9割以上有している。また、老化に伴うところ	成長と発達ของ考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を8割以上有している。また、老化に伴うところ	成長と発達ของ考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を7割以上有している。また、老化に伴うところ	成長と発達ของ考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を6割以上有している。また、老化に伴うところ	成長と発達ของ考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を6割以下しか有していない。また、老化に伴う
LO-2					
LO-3	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えを发表することが十分でできる。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応すれ	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えをかなり发表することができ。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応すれ	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えを发表することがある程度できる。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応す	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えを发表することがまああできる。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応す	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えを发表することができない。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応すればよ
LO-4	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢が十分にある。	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢がかなりある。	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢がある程度ある。	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢がまああある。	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢があまりない。
LO-5					

授業科目名	医学一般			科目コード	W113-20				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 発達と老化の理解		担当教員名	田淵 英一					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般I		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目 社会福祉主事任用資格関連科目								
授業の概要	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を習得するとともに、中年・高齢期にみられる代表的な疾患について理解する。								
学習目標	生活習慣・老化に伴う代表的な疾患について、原因、症状、治療を知り、理解する。								
キーワード	病気、医療、原因、症状、治療								
テキスト・ 参考書等	新・社会福祉士養成講座 1 人体の構造と機能及び疾病(福祉士養成講座編集委員会 中央法規)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、症状、治療を説明できる。								
LO-2									
LO-3	病気に罹患することにより生じる患者の精神、肉体、経済、家族、環境の変化など、包括的に疾患を捉えることができる。								
LO-4									
LO-5	病気が発生する原因、予防、治療について探求する意欲をもてる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4									
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 疾病に関する原因、症状、治療法を中心に出題します。 医学一般前期での医学基礎知識が所々で必要となります。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活習慣 メタボリックシンドロームの背景・概念・定義、生活習慣病の背景・概念・種類	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	腫瘍 良性腫瘍の種類・原因・症状・治療、悪性腫瘍の種類・原因・症状・治療	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第3回	血管系 脳血管性疾患（脳出血、脳梗塞）、心疾患（狭心症、心筋梗塞）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	循環・代謝系 高血圧、糖尿病	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	呼吸・消化器系 肺炎、気管支炎、肝炎・肝硬変、消化性潰瘍	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	血液・腎臓 貧血、白血病、腎不全	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	泌尿器 尿失禁、排尿困難、前立腺肥大	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	骨・関節 骨粗鬆症、骨折、変形性関節症、関節リウマチ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	目・耳 白内障、緑内障、難聴、めまい	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	感染 感染症（ノロウイルス、インフルエンザウイルス、エイズ、結核、腸管出血性大腸炎、日和見感染）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	神経 パーキンソン病・症候群、クロイツフェルト・ヤコブ病、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	先天性疾患 ダウン症候群、心房・心室中隔欠損症、血友病、進行性筋ジストロフィー	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	老年性疾病 老年症候群、廃用症候群、褥瘡、低栄養、脱水、嚥下障害	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	重症心身障害 脳性麻痺、進行性筋ジストロフィー	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	精神 知的障害、発達障害、認知症、統合失調症、感情障害	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	360分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を詳細に習得・理解している。	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識をかなり習得・理解している。	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識をよく習得・理解している。	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を一定程度に習得・理解している。	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識をほとんど習得・理解していない。
LO-2					
LO-3	中年・高齢期にみられる代表的な疾患について十分に理解している。	中年・高齢期にみられる代表的な疾患についてかなり理解している。	中年・高齢期にみられる代表的な疾患についてよく理解している。	中年・高齢期にみられる代表的な疾患について一定程度に理解している。	中年・高齢期にみられる代表的な疾患についてよく理解していない。
LO-4					
LO-5	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気についてかなり積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について積極的に質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問している	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問したことがある	受講カード、授業中・終了後、課外時間等にて、病気について質問がない

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W115-10				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	西井 啓子 松居 紀久子					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般		後継科目	認知症ケア論					
関連科目	発達と老化、高齢者福祉論、介護実習、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。最新の知見を踏まえて認知症の人の心理を理解し、さまざまなケア方法を知ることによって自信を持って適切な対応ができるよう、様々な教材、ディスカッションも交えて実践力に繋がります。第1回～8回までは松居担当。第9回～15回までは西井担当。								
学習目標	1.認知症ケアの歴史や現状、国の施策を理解する 2.認知症の原因となる主な病気の症状や特徴を学び、それに伴うこととからだの変化を理解する。 3.認知症の人の特性を理解し、日常生活における支援・ケアの基本について学び、共感的に理解することができる。								
キーワード	認知症 中核症状 周辺症状 BPSD パーソン・センタード・ケア								
テキスト・ 参考書等	「認知症の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症を取り巻く現状や歴史、認知症の原因疾患・中核症状・周辺症状、パーソン・センタード・ケアについて理解している。								
LO-2	認知症の人の心理に共感し、課題の中で、それに関する自身の思いを表現することができる。								
LO-3	それぞれの認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状にあわせた対応方法を考えることができる。								
LO-4	授業には前向きな姿勢で取り組み、新しい知識を吸収したいという思いで講義に臨んでいる。								
LO-5	相手の立場に立って考えられる姿勢が常時あり、円滑なコミュニケーションをとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20			30			100
LO-1	50		10						60
LO-2						10			10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、普通の授業の中で評価します。松居と西井で半々で成績を評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症を取り巻く現状 実習体験を振り返り、認知症に関する授業前の自身の認知症の方への理解の状況を把握 自身の事例をワークにまとめ、グループ毎に発表し、意見交換を行う 「認知症」の意義と定義を学ぶ	
	【予習】本シラバスを読み、科目の概要や目的を抑える	60分
	【復習】自身の実習体験と他の人の体験をふりかえり、今後どのような知識が必要となるのかをまとめる 「認知症」の言葉の定義や意味を確認する	120分
第2回	認知症を取り巻く現状 認知症ケアの歴史について学ぶ(オレンジプラン等は別資料配布) DVD「認知症ケア」	
	【予習】テキストP6からP4を読んでおく	60分
	【復習】テキストと配布資料より、痴呆から認知症への移り変わりの背景を確認し、現状と今後の方向性について理解を深める	120分
第3回	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
	【予習】テキストP24を読んでおく	60分
	【復習】配布資料をもとに、認知症人への支援対策を説明できるようにする	120分
第4回	医学的側面からみた認知症の基礎 中核症状と周辺症状についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP44からP56までを読んでおく	60分
	【復習】中核症状と周辺症状の違いがわかり、説明ができる それぞれに含まれる症状について理解し、説明ができる	120分
第5回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症類似の状態について知る。「健忘」「せん妄」「うつ病」について理解をする	
	【予習】テキストP44からP56までを読んでおく	60分
	【復習】「健忘」「せん妄」「うつ病」について、それぞれの「認知症」との違いがわかり、説明ができる	120分
第6回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「アルツハイマー型認知症」について理解する	
	【予習】テキストP58からP62までを読んでおく	60分
	【復習】「アルツハイマー型認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第7回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「脳血管性認知症」について理解する	
	【予習】テキストP62からP63までを読んでおく	60分
	【復習】「脳血管性認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第8回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「レビー小体型認知症」「前頭・側頭型認知症」について理解する	
	【予習】テキストP64からP65までを読んでおく	60分
	【復習】「レビー小体型認知症」「前頭・側頭型認知症」について理解し、説明ができる	120分
第9回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「慢性硬膜下血腫」「クロイツフェルト・ヤコブ病」などさまざまな認知症の原因疾患を理解する	
	【予習】テキストP65からP67を読んでおく	60分
	【復習】「慢性硬膜下血腫」「クロイツフェルト・ヤコブ病」などさまざまな認知症の原因疾患を理解し、説明することができる	120分
第10回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面からみた「若年性認知症」「MCI」について理解する	
	【予習】テキストP2、P17、P17を読んでおく	60分
	【復習】「若年性認知症」「MCI」について理解し、説明することができる	120分

第11回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症の診断と、認知症の評価スケールについて理解する 実際に評価スケールを実施してみる	
	【予習】テキストP9からP12、P24からP29までを読んでおく	60分
	【復習】授業の資料を再確認し、認知症の診断基準や評価スケールについて理解し、説明することができる	120分
第12回	認知症の治療について理解する。	
	【予習】テキストP35からP42までを読んでおく	60分
	【復習】DVDを見ての感想をレポートにまとめる	120分
第13回	認知症に伴うことからのからだの変化と日常生活 認知症の行動・心理症状（BPSD）について、それぞれのステージの特徴を理解する	
	【予習】テキストP42からP61までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の進行に伴い変化する、認知症の人の心理、コミュニケーションの特徴、関わる際の留意点などを理解する	120分
第14回	認知症に伴うことからのからだの変化と日常生活 「パーソン・センタード・ケア」について理解をする	
	【予習】テキストP62からP66までを読んでおく	30分
	【復習】授業の資料を再確認し、「パーソン・センタード・ケア」の考え方を理解し、説明することができる	120分
第15回	認知症に伴うことからのからだの変化と日常生活 総合的なまとめ DVD「明日の記憶」	
	【予習】これまで学習したテキスト範囲、資料を確認する	30分
	【復習】DVDの各場面ごとの主人公の思いや周囲の人の関わりをワークシートにまとめる	180分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	認知症ケアの基礎知識を十分に理解し、正しく説明することができる	認知症ケアの基礎知識を理解し、説明することができる	認知症ケアの基礎知識をある程度理解している	認知症ケアの基礎知識を多少覚えた	認知症ケアの基礎知識をほとんど覚えていない
LO-2	認知症の人の心理に共感し、講義で学んだ知識を応用して、与えられた課題に対して、自分の考えを具体的かつ客観的に説明することができる	認知症の人の心理に共感し、講義で学んだ知識を基に、与えられた課題に対して自分の考えを具体的かつ客観的に説明することができる	認知症の人の心理に共感し、与えられた課題に自分の考えを抽象的・主観的に説明することができる	与えられた課題に対して、自分の考えを説明することが不十分である	与えられた課題に対して、自分の考えを説明することが出来ない
LO-3	認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状に合わせた対応方法を考えることができ、説明をすることもできる	認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状に合わせた対応方法を考えることができる	認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状に合わせた対応方法を知っている	認知症の原因疾患の特徴を知っているが、認知症の人の症状に合わせた対応方法を知らない	認知症の原因疾患の特徴を理解できていない上に、認知症の人の症状に合わせた対応方法を知らない
LO-4	講義に前向きな姿勢で取り組み、疑問点などを積極的に調べたり、質問したりすることができる	講義に前向きな姿勢で取り組み、予習・復習をし、知識を習得していくことができる	講義に真摯な姿勢で取り組み、知識を習得していくことができる	講義には出席するが、意欲的に知識を学ぼうとする姿勢に乏しい	学習意欲がなく、欠席が多く、消極的な態度である
LO-5	グループワークなどをおして、メンバーと意見交換をし、理解度を確認し合い、相互に教え合ってそれぞれの知識を深めることができる	グループワークなどをおして、メンバーと意見交換を行い、理解度を確認し合い、相互に教え合って自身の知識を確認することができる	グループワークなどをおして、メンバーと意見交換を行い、知識を確認することができる	グループワークなどをおして、メンバーの理解度は把握できたが、自分自身の理解度は説明することができない	グループワークなどをおしても、メンバーの理解度や自身の理解度を説明することはできない

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W115-11				
科目区分	専門科目 - こころとからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	井上 理絵 串田 美代志					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W115-20				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	西井 啓子					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、医学一般、発達と老化の理解		後継科目	障害者ケア論					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の医学的側面からの基礎知識（症状や合併症）を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。障害に関する医学的知識を具体事例をもとに講義します。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的知識を習得し、自立に向けた生活を考え尊厳を重視した支援ができる。								
キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト 「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2									
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。								
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10			10			100
LO-1	30	10	10						50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4						10			10
LO-5	10								10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害の医学的側面の基礎知識 障害福祉の理念について講義します。	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第2回	障害の医学的側面の基礎知識 障害者福祉の理念	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ（筋肉）を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第3回	障害の医学的側面の基礎知識 肢体不自由のある人についての生活支援を講義します。（2）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ（神経）を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第4回	障害の医学的側面の基礎知識 「風の舞」を通して、障害がある人を理解する	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 動作が思うようにできないことが気持ちに与える影響を考える。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第5回	障害の医学的側面の基礎知識 言語障害のある人の理解についての生活支援を講義します。（1）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ（口腔）を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第6回	障害の医学的側面の基礎知識 言語障害のある人についての生活支援を講義します。（2）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 思いが伝わりにくいことが生活に与える変化を考える。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第7回	障害の医学的側面の基礎知識 聴覚障害のある人についての生活支援を講義します。（1）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ（目）を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第8回	障害の医学的側面の基礎知識 視覚障害のある人についての生活支援を講義します。（2）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 中途失明について調べる。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第9回	障害の医学的側面の基礎知識 視覚障害のある人についての生活支援を講義します。（2）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ（耳）を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第10回	障害の医学的側面の基礎知識 心臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 第1～9回の復習。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分

第11回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 呼吸機能機能障害と腎臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からのしくみ(心臓)を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第12回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 心臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 高齢者の心疾患の特徴を予習する。	60分
	【復習】資料・ノートを整理する。	30分
第13回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 呼吸機能障害のある人についての生活支援を講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からのしくみ(肺)を予習する。	60分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	60分
第14回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 呼吸機能障害のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 呼吸の変化が気持ちに与える影響を考える。	60分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	120分
第15回	障害の医学的側面の基礎知識 内部障害のある人の理解 腎臓機能障害のある人についての生活支援を講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からのしくみ(腎臓)を予習する。	30分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、かなり説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、一部説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、説明できない。
LO-2	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者にかなり説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に一部説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できない。
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を十分考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護をかなり考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を一部考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができない。
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを率先して発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えをかなり発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを一部発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できない。
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことが常々できる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことが時々できる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことがあまりできない。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができない。

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W115-21				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 認知症・障害の理解			担当教員名	松居 紀久子				
開講時期	2年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)	障害者ケア論			後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の種類に応じた医学的基礎知識と自立した生活に向けてのケアについて、本人・家族を含めた介護の視点を学びます。さらに、地域のサポート体制と多職種の連携、協働、家族支援について講義や施設見学等から理解を深めます。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的知識を習得し、自立に向けた生活を考え尊厳を重視した支援ができる。本人と家族の支援に必要なサポート体制、多職種連携、協働から、介護福祉士の支援の在り方について理解できる。								
キーワード	内部障害 免疫不全 糖尿病 難病 直腸・膀胱機能障害 難病の支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2									
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。								
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10		10				100
LO-1	30	10	10						50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4					10				10
LO-5	10								10
備考	課題の提出は、授業で伝達された期限を守ること。 課題にはコメント・点数をつけ、必要時個人面談します。 欠席時は、資料等必ず研究室に来院して説明を受けること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害の医学的側面の基礎知識 前期の復讐からはじめます。	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	障害の医学的側面の基礎知識 直腸・膀胱機能低下のある人について講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。 からだのしくみ(消化器)を学習する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の医学的側面の基礎知識 直腸・膀胱機能低下のある人について生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】課題プリント提出	90分
第4回	障害の医学的側面の基礎知識 直腸・膀胱機能低下のある人について日常生活の「活動」場面の支援を考えます。(3)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害の医学的側面の基礎知識 肝臓機能障害のある人についての生活支援を講義し、生活支援を考えます。	
	【予習】テキストを読む。 からだのしくみ(肝臓)を学習しておく。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害の医学的側面の基礎知識 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある人について講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	障害の医学的側面の基礎知識 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある人についての生活支援を考えます。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	障害の医学的側面の基礎知識 糖尿病のある人について講義します。(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	障害の医学的側面の基礎知識 糖尿病のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	障害の医学的側面の基礎知識 糖尿病のある人についての生活支援を講義します。(2)	
	【予習】テキストをよく読み、日常生活の「活動」 について、考える。資料持参する。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	障害の医学的側面の基礎知識 10回までの小テスト 難病の人について講義します。(1)	
	【予習】障害の復習してくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援を講義します。(2)	
	【予習】障害の種類を学習してくる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第13回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援を講義、ディスカッションします。(3)「特別講義」	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】レポート作成提出する。	90分
第14回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援 家族の支援と地域との連携(1)	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	障害の医学的側面の基礎知識 難病の人について生活支援 家族の支援と地域との連携(2) 練習問題を実施する。	
	【予習】今までのまとめ	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、体系的に正しく説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、かなり(8割以上)正しく説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、一部(5割程度)説明することができる。	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、説明できない。
LO-2	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者にかなり説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に一部説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できない。
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を十分考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護をかなり考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を一部考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができない。
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを率先して発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えをかなり発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを一部発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できない。
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことが常にできる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことが時々できる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことがあまりできない。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができない。

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W121-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関好博 井上理絵					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護福祉論					
関連科目	障害者福祉論、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護福祉士を取り巻く状況と介護福祉士誕生の背景、介護の対象となる高齢者や障害者の特性、介護実践の場、そして介護従事者の倫理を、テキストや資料を用いて説明します。介護の意義と役割及び専門性、自立の意味や自己決定、ICFの考え方の理解を目指します。								
学習目標	1. 介護の目的・理念、介護の社会化等、介護福祉に関連する重要な用語を説明できる。 2. 介護福祉士を取り巻く状況から介護問題の背景について説明できる。 3. 「尊厳を支える介護」や「自立に向けた介護」について、自分の意見を述べる事ができる。								
キーワード	介護福祉、介護福祉士、介護福祉士及び介護福祉士法、介護の社会化、尊厳、自立支援								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座「3介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	わが国の介護福祉の歴史や関連する法律、および社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景や介護の定義、義務規定など、介護福祉士を取り巻く状況に関する知識を有する。また、尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理								
LO-2									
LO-3	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	本講義で習得した介護の基本となる知識について、新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心を有する。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	10			10		30	100
LO-1	40	10							50
LO-2									
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5								30	30
備考	その他 A については、授業への参加度合いを総合的に評価して点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護福祉士を取り巻く状況「介護の成り立ち、歴史、概念・定義」	
	【予習】本シラバスを読み、本講義の全体を把握すること。参考図書介護福祉辞典「福祉」の用語を調べておく。	90分
	【復習】福祉の用語を狭義と広義の両面から理解する。	90分
第2回	第1章 自立に向けた介護 介護の成り立ち	
	【予習】テキストP2～P13まで読んでくる	90分
	【復習】日本での介護における歴史についてノート、テキストを基に整理する。	90分
第3回	介護の概念・定義、「介護」の見方・考え方の変化、介護問題の背景（テキストP13～21）	
	【予習】テキストP13～21を読んでくる。	90分
	【復習】介護の概念、定義について整理し、「介護」の見方・考え方の変遷についてノート・テキストを基に整理する。介護問題の背景を整理する。	90分
第4回	介護実践における連携 多様なサービスの理解（居宅・施設） 「きのこエスポワール病院の30年」DVDから歴史・尊厳の介護、利用者理解、施設での介護状況について学びを深める	
	【予習】テキストP22～34を読んでくる。	90分
	【復習】施設の生活の変化について学びを深める 生活を支える方法について考える	90分
第5回	介護実践における連携 多様なサービスの理解（介護保険外、社会資源）	
	【予習】テキストP35～48まで読んでくる	90分
	【復習】介護保険の概要を理解し、介護保険外の市町村独自のサービスについて調べる	90分
第6回	自立に向けた介護 居宅・施設での仕事の内容 DVD「職務の理解」訪問介護・通所介護・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・特別養護老人ホーム	
	【予習】P48からP57まで読んでくる	90分
	【復習】施設の特性と、サービス内容、仕事の内容について理解を深める	90分
第7回	自立に向けた介護 ケアマネジメントと他職種連携 事例からケアマネジメントを考える（小テスト）	
	【予習】（小テスト 前回までの振り返り）ケアマネジメントの内容を調べる テキストP180から184まで読んでくる	90分
	【復習】ケアマネジメントと介護過程の違いについて説明できるようにする	90分
第8回	尊厳を支える介護 人権と尊厳の保持、QOL、エンパワメント	
	【予習】P159からP170まで読んでくる	90分
	【復習】生活とは何かを考え、支援のあり方や求められている効果を考え、まとめる 尊厳を支えるケアについて理解を深める	90分
第9回	尊厳を支える介護 ノーマライゼーション、自立・自律、ストレングスマデル	
	【予習】テキストP171からP180まで読んでくる	90分
	【復習】利用者のもつ内的資源と外的資源について復習し、ストレングスマデルを理解し、ノーマライゼーションについて説明できるようにする	90分
第10回	介護従事者の倫理 高齢者虐待	
	【予習】高齢者虐待の事例を調べてくる	90分
	【復習】高齢者虐待防止法、高齢者の養護者支援について事例をもとに考えをまとめる	90分

第11回	介護従事者の倫理 身体拘束禁止	
	【予習】身体拘束の内容について調べる	90分
	【復習】身体拘束ゼロ作戦、個人の権利を守る制度の概要について復習する	90分
第12回	自立に向けた介護 自立支援と介護予防 残存能力の活用、意欲を高める介護	
	【予習】自立支援について復習してくる 介護予防の意義を調べる	30分
	【復習】残存能力の活用、意欲を高める支援について考えをまとめる	60分
第13回	自立に向けた介護 自立支援と介護予防 個別性の尊重と個別ケア、重度化防止、生活不活発病について	
	【予習】生活不活発病について調べる	90分
	【復習】介護予防の考え方を深め、レポートにまとめる	90分
第14回	介護実践における連携 他職種との理解とチームケア 介護環境の特徴の理解 訪問介護と施設介護サービスの違い、地域包括ケアの方向性	
	【予習】 小テスト 前回までのまとめ) 地域包括ケアの内容について調べる	90分
	【復習】介護の専門性と介護環境の特徴について理解を深める	90分
第15回	介護実践における連携 介護に関わる職種	
	【予習】介護支援専門員、サービス提供責任者、チームケアに含まれる職種を調べる	90分
	【復習】公的なサービスを行うために必要な役割分担について考えをまとめる	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識を十分有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識を有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識をある程度有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識を多少有する。	介護福祉関連法や尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理論に関する知識がない。
LO-2					
LO-3	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力を十分有する。	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力をある程度有する。	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力を多少有する。	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力がない。
LO-4	新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心を十分有する。	新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心を有する。	新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心をある程度有する。	新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心を多少有する。	新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心がない。
LO-5	授業評価アンケートを通じて、毎回の授業をきちんと振り返りしている。	授業評価アンケートを通じて、毎回の授業の振り返りが多少なりともしてある。	授業評価アンケートを通じて、時おりは授業の振り返りをしている。	授業評価アンケートに、わずかに振り返りのあとが見られる。	授業評価アンケートに、まったく振り返りのあとが感じられない。

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W121-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	石橋 郁子 井上 理絵					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博 井上 理絵					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本	担当教員名	関 好博 井上 理絵						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	障害者福祉論			科目コード	W121-14				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	松居 紀久子 室林 孝嗣 福祉学科 学科マスター					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	障害者ケア論		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の種別に応じた医学的基礎知識と自立した生活に向けてのケアについて、本人・家族を含めた介護の視点を学びます。さらに、地域のサポート体制と多職種の連携、協働、家族支援について講義や施設見学等から理解を深めます。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的知識を習得し、自立に向けた生活を考え尊厳を重視した支援ができる。本人と家族の支援に必要なサポート体制、多職種連携、協働から、介護福祉士の支援の在り方について理解できる。								
キーワード	障害者総合支援法 発達障害 知的障害 精神障害 障害者の支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2									
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。								
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		40		10	10			100
LO-1	30		20			10			60
LO-2									
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5	10								10
備考	室林先生 7回 (障害者総合支援法・発達障害系)、松居 3回 (介護の視点)、()先生 5回 (精神障害系)です。合わせて全体評価とします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護を必要とする人の理解 オリエンテーション・障害の基本理念	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	介護を必要とする人の理解 人間の多様性・複雑性の理解、社会情勢と生活実態	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	介護を必要とする人の理解 障害者の暮らしの実際（1）障害者の生活の歴史	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第4回	介護を必要とする人の介護 障害者の暮らしの実際（2）法制度の変革	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	介護を必要とする人の理解 障害者の暮らしの実際（3）障害者総合支援法	
	【予習】障害者総合支援法について調べる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第6回	介護を必要とする人の理解 障害者の暮らしの実際（4）障害者総合支援法	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（1）サービスの仕組み	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（2）サービスのプロセス	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（3）サービスの課題	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	介護を必要とする人の理解 障害のある人の暮らしの理解（4）障害児の支援	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(1) 行政・労働・教育	
	【予習】資料を復習してくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(2) 就労支援	
	【予習】障害の概念を復習してくる。	90分
	【復習】レポート整理する。	90分
第13回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(3) 支援事業	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第14回	介護を必要とする人の理解 介護を必要とする人の生活の理解(4) ケアマネジメント	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】説明できない語句を調べる。	30分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護を必要とする人の基礎知識を理解し、生活支援、法制度、地域で暮らすサポート等を正しく説明することができる。	介護を必要とする人の基礎知識を理解し、生活支援、法制度、地域で暮らすサポート等をかなり説明することができる。	介護を必要とする人の基礎知識を理解し、生活支援、法制度、地域で暮らすサポート等を説明することができる。	介護を必要とする人の基礎知識を理解し、生活支援、法制度、地域で暮らすサポート等、一部説明することができる。	介護を必要とする人の基礎知識を理解し、生活支援、法制度、地域で暮らすサポート等、説明することができない。
LO-2	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者にかなり説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に一部説明できる。	用語を理解して記録ができ、他者に正しく説明説明できない。
LO-3	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を十分考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護をかなり考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を一部考える事ができる。	障害に応じた基本的なケアの根拠を理解し、利用者の生活に応じた自立に向けた介護を考える事ができない。
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを率先して発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えをかなり発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを一部発言できる。	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できない。
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことが常々できる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことが時々できる。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことがあまりできない。	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができない。

授業科目名	介護予防論			科目コード	W121-15				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	立島 真 佐藤 佳子 杉本 洋亮 今村 彰宏 田村 良子					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W122-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - コミュニケーション技術	担当教員名	関 好博 石橋 郁子 松居 紀久子						
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、介護職員初任者研修								
授業の概要	1 介護におけるコミュニケーションの意義と目的、介護技術とコミュニケーションの関係性。2 介護福祉士に求められるさまざまなコミュニケーション技法。3 コミュニケーション障害の理解、障害に応じたコミュニケーションの技法。4 チームにおけるコミュニケーションの意義と目的。記録、報告・連絡・相談、会議。これらを演習を通して理解できるようにする。								
学習目標	介護福祉士に求められる専門性とコミュニケーション技術の関係を明らかにしながら、介護場面における幅広いコミュニケーション技術の理解を目指すとともに、社会福祉援助技術の能力を身につけます。								
キーワード	コミュニケーション障害、傾聴、共感、質問技法、記録								
テキスト・ 参考書等	新・介護福祉士養成講座「5 コミュニケーション技術」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する基礎知識を身につける。								
LO-2	利用者や家族などに対し、基本技術を身につけ、適切なコミュニケーションができる。								
LO-3	事例から、利用者理解を踏まえ、介護場面に求められるコミュニケーション技術の判断ができる。								
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5	事例検討、グループワーク等に積極的に参加し、協働で成果に取り組むことができる。介護の対象者の全体像を理解しようとし、介護観を深める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		15		10	5			100
LO-1	50								50
LO-2					10				10
LO-3	20								20
LO-4						5			5
LO-5			15						15
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護におけるコミュニケーションの基本（介護におけるコミュニケーションの役割や基本、生活支援とコミュニケーション）	
	【予習】シラバスを確認し授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】コミュニケーションの意義と目的、基本についてまとめておく。	30分
第2回	介護におけるコミュニケーションの基本（利用者・家族との関係づくり）	
	【予習】テキスト第1章の第2節 までをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】関わりを示す5つの基本動作をまとめておく。	30分
第3回	介護におけるコミュニケーション（コミュニケーションと人間の特性、生活支援とコミュニケーション）	
	【予習】テキスト第1章の第3節 をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】介護福祉士は介護技術の提供をとおして利用者とコミュニケーションをおこなっていることを自分なりに理解する。	30分
第4回	コミュニケーションの基本、介護におけるコミュニケーションの役割	
	【予習】テキスト第2章の第1節 をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】傾聴の意味と、「よき聴き手」とはどういうものかをまとめておく。	30分
第5回	介護における生活支援とコミュニケーション、チームのコミュニケーション	
	【予習】テキスト第1章の第3節と第4章の第1節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】コミュニケーションの意義と役割についてまとめておく。	30分
第6回	利用者の特性に応じたコミュニケーション（コミュニケーション障害のある利用者への対応）	
	【予習】テキスト第3章の第2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】コミュニケーション障害について、テキストの演習を元にまとめておく。	30分
第7回	利用者の特性に応じたコミュニケーション（コミュニケーション障害のある利用者への対応） 技術の実際	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】質問の技法を事例を元に説明できるとともに、質問のポイントを説明できるようまとめておく。	30分
第8回	機械・道具を用いたコミュニケーション（コミュニケーションツールの種類と活用） 記録について	
	【予習】他の関連科目のテキストを参照しながら、コミュニケーションツールの種類を調べてくる。	15分
	【復習】インターネットほかでコミュニケーションツールを用いた事例を確認しておく。	30分
第9回	介護におけるコミュニケーションの基本（報告並びに環境について）	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】「報告」「連絡」「相談」の意義と目的を整理しておく。また、具体的な方法と留意点をまとめておく。	30分
第10回	介護場面における利用者・家族（利用者の納得と同意を得る技法） 意義・目的・技法	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】「明確化」「焦点化」「要約」「直面化」などを自分で整理しておく。	30分

第11回	介護におけるチームのコミュニケーション（チームのコミュニケーション）	
	【予習】テキスト第4章の第1節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】チームのコミュニケーションに関して、基礎的なことと具体的な方法についてまとめておく。	30分
第12回	介護におけるチームのコミュニケーション（記録）	
	【予習】テキスト第4章の第2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】記録の種類と書き方の留意点をまとめておく。情報の保護と管理について整理しておく。	30分
第13回	介護におけるチームのコミュニケーション（報告・連絡・相談、会議）	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】「報告」「連絡」「相談」の意義と目的を整理しておく。また、具体的な方法と留意点をまとめておく。会議の留意点をまとめておく。	30分
第14回	介護場面における利用者・家族（相談・助言・指導の技法、利用者の意欲を引き出す技法）	
	【予習】テキスト第2章の第5節と第6節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】相談を受ける際の原則と、介護職に求められる相談技術をまとめておく。利用者の意欲低下に関してまとめるとともに、ストレングスを引き出す技法について考えておく。	30分
第15回	介護場面における利用者・家族（利用者と家族の意向を調整する技法、複数の利用者がいる場面での技法）	
	【予習】テキスト第2章の第7節と第8節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】利用者と家族の意向の一致に向けた支援をまとめておく。グループワークについてまとめておく。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する知識を十分に理解できている。	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する知識をかなり理解できている。	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する知識をある程度まで理解できている。	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する知識を部分的には理解できている。	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する知識をほとんど理解できていない。
LO-2	介護専門職として適切なコミュニケーション表現が十分にとれている。	介護専門職として適切なコミュニケーション表現がかなりのレベルまでとれている。	介護専門職として適切なコミュニケーション表現がある程度とれている。	介護専門職として適切なコミュニケーション表現が少しとれている。	介護専門職として適切なコミュニケーション表現がほとんどできていない。
LO-3	介護実践の場面に応じたコミュニケーション技術の判断が十分にしている。	介護実践の場面に応じたコミュニケーション技術の判断がかなりついている。	介護実践の場面に応じたコミュニケーション技術の判断がある程度までついている。	介護実践の場面に応じたコミュニケーション技術の判断が少しついている。	介護実践の場面に応じたコミュニケーション技術の判断がほとんどできていない。
LO-4	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが十分に記入してある。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが一定程度は記入してある。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが多少は少ししである。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが不足している。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが全然なされていない。
LO-5	事例検討、グループワーク等に参加し協働で成果に取り組み、介護観を深めるように積極的に参加し十分身につけている。	事例検討、グループワーク等に参加し協働で成果に取り組み、介護観を深めるように積極的に参加し身につけている。	事例検討、グループワーク等に参加し協働で成果に取り組み、介護観を深めるように積極的に参加しある程度身につけている。	事例検討、グループワーク等に参加し協働で成果に取り組み、介護観を深めるように積極的に参加しているが、習得が不十分。	事例検討、グループワーク等に参加し協働で成果に取り組み、介護観を深めるように積極的に参加し十分身につけていない。

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W122-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - コミュニケーション技術	担当教員名	山崎 清之 松本 保男						
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	障害者ケア論 ・ 生活支援技術 介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	1. 聴覚及び言語障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。 2. 視覚障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。								
学習目標	1. 手話 ・ 基本的な手話技術の習得 ・ 障害のとらえ方の理解 ・ 聞こえないことの不便や聴覚障害者のおかれている社会環境、関連制度等の理解 2. 点字								
キーワード	1. 手話 聴覚障害者 点字 視覚障害者 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	1. 「新・手話教室 入門」 - 厚生労働省手話奉仕員養成講座入門課程対応 - 2. 「初めての点訳」 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	1.手話 ・テキストをもとに、ほぼ毎回ビデオを使用して学習を進めます ・ネイティブスピーカー(ろう者)に、2回程度参加してもらいます ・必要に応じて、グループ等に分かれて進めます *授業態度・意欲(25%程度)・節目ごとのレポート(30%程度)・修了試験(45%程度)を目安にして、総合的に評価します"								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の歴史と概要、点字の歴史、点字と墨字、点字の組み立て・特徴、 点字器の種類・扱い方	
	【予習】シラバス確認	0分
	【復習】自己課題の取り組み	0分
第2回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(その1) 点字を書くときのポイント、 「読み書きの基礎」 点字の読み方、五十音	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(その2)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(その3) 数字、アルファベット	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 聞こえないってどんなこと	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう教育	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 指文字を覚えよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人の話を聞こう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう者の生活 家族を紹介しよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 趣味を表してみよう・誕生日を表してみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうのひと話をしてみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	1. 手話 修了試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	石橋 郁子 井上 理絵 松居 紀久子					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	生活支援技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデルや実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜小テストを行い、技術や知識を確認していきます。								
学習目標	1.生活支援の目的・方針を理解する 2.介護の必要性や根拠を考え、理解することができる 3.「住環境の整備」「移動」「身じたく」「食事」「排泄」の意義・目的を理解し、自立に向けた基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術、移動・移乗、身じたく、食事、排泄								
テキスト・ 参考書等	川井太加子編集 最新介護福祉全書5 「介護 生活支援技術」 メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活支援 ・生活とはどのようなことを考えます。また、ICFの考え方についての基礎を学びます。	
	【予習】シラバス・テキスト目次を確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第2回	「観察」について健康を支える技術についてバイタルサイン測定について学びます。	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意する。	90分
	【復習】バイタルサインの重要性と正確な測定方法を復習しておく。	90分
第3回	自立に向けた住居環境の整備 環境と健康状態、安全で安楽な生活環境、睡眠について学びます。	
	【予習】安眠の条件を調べる。	90分
	【復習】テキスト、資料の復習しておく。	90分
第4回	自立に向けた住居環境の整備 心地よい睡眠環境、「ベッドメイキング」演習、腰痛予防について学びます。	
	【予習】睡眠環境を考える。	90分
	【復習】ベッドメイキングのポイントをおさえ、二人で実施する練習をする。	90分
第5回	自立に向けた移動の介護 基本的な身体動作、ベッド上での寝返り動作等	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(骨格・筋肉)	90分
	【復習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
第6回	自立に向けた移動の介護 起き上がり・立ち上がりから歩行動作介助を学びます。	
	【予習】前回の復習。	90分
	【復習】ベッド上の動作の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第7回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第8回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。 障害者車両を体験します。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第9回	自立に向けた身じたくの介護 着る・装うことの意義・目的、被服の機能と個性について学びます。	
	【予習】高齢者の服装について調べる。	90分
	【復習】口腔ケアのポイント確認しておく。	90分
第10回	自立に向けた身じたくの介護 着脱介助の実際	
	【予習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
	【復習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分

第11回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分
第12回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第13回	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義・目的、排泄介護の実際・トイレ誘導	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第14回	生活支援 前期実技試験模擬 オリエンテーション	
	【予習】実技の復習。	90分
	【復習】実技試験・定期試験対策	90分
第15回	自立に向けた排泄の介護 排泄介助の実際 おむつ介助	
	【予習】テキストでおむつ交換とあたりまえの排泄について考える。	90分
	【復習】実技試験・定期試験対策	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を十分説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性をおおむね説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を一部説明できる。	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できない。
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が正確に実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術がおおむね実践できる。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術の実践に努力を要する。	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できない。
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から一部考えることができる。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることに困難を要する。	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から考えることができない。
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことがおおむねできる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことが一部できる。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことに努力を要する。	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができない。
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことが十分できる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことがおおむねできる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことに努力を要する。	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができない。

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	石橋 郁子 井上 理絵 松居 紀久子					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	松島 紘子 竹内 七々恵					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-20				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	石黒 康子					
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	医学一般 、生活支援技術 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	・自立に向けた家事の介助の方法、家事に参加することを支える介護を学習。行事食・郷土食としての伝統食やマナーなど生活文化についても学習。健やかな人生を送るための適正な食生活のあり方に関する知識の習得。								
学習目標	栄養バランスのとれた食事、高齢者の嗜好に合った食べやすい食事、生活習慣病を予防できる食事等、命をつなぎ、QOLの向上に欠く事のできない食の重要性を認識し、臨機応変に対応できる介護実践力を養うこと。								
キーワード	健康・栄養・食生活・衛生・生活習慣病・介護食								
テキスト・ 参考書等	久保田トミ子他、介護福祉士養成テキスト10 「生活支援技術」 建帛社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ特性について理解し、正しく答えることができる。								
LO-2	ニーズを踏まえ、個別性に応じた安全でおいしい食事作りができる。								
LO-3	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	健康や食について関心をもち、自分自身も適正な食生活に努めている。								
LO-5	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	30	10				100	
LO-1	50	10						60	
LO-2									
LO-3			30					30	
LO-4									
LO-5				10				10	
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	家事の意義と目的、栄養と健康、食生活の現状と問題点。	
	【予習】 日常の家事の必要性について考えてみる。また、自分の食生活を振り返ってみる。	90分
	【復習】 自分の食生活について見直しをおこない、課題を見出し解決方法を考える。	90分
第2回	90	
	【予習】 医学一般 のテキストをもとに、身体の機能について復習をおこない、要点を確認しておく。	90分
	【復習】 栄養素の役割についてまとめ、疾患との関係を把握しておく。	90分
第3回	食品の分類と特性 (中間テスト)	
	【予習】 日頃、摂取している食品について、過不足がないか調べてみる。	90分
	【復習】 食品の特性と調理との関係を把握する。	90分
第4回	食品の加工と保存、食品の安全性	
	【予習】 食品についている表示やマークについて調べてみる。	90分
	【復習】 消費期限・賞味期限の確認、冷蔵庫の庫内について調べる。	90分
第5回	献立と料理、献立作成、調理の手法	
	【予習】 我が家の食事ができるまでを把握する。	90分
	【復習】 献立作成のポイントをまとめ、高齢者向きを考えた場合の展開方法を把握する。	90分
第6回	高齢者・障害者の食生活のあり方	
	【予習】 老化に伴う身体面や心理面からの機能低下の状態や、障害によって生じる食事摂取の不都合さについて把握する。	90分
	【復習】 高齢者・障害者がおいしく食べれる手法をまとめる。	90分
第7回	食事と生活習慣病	
	【予習】 食事と病気の関係を調べる。	90分
	【復習】 生活習慣病を予防するためのポイントをまとめる。	90分
第8回	調理実習 (1) 介護食	
	【予習】 咀嚼・嚥下困難者について調べる。	90分
	【復習】 嚥下困難に適する食材・調理方法をまとめる。	90分
第9回	調理実習 (2) 日本料理の基礎	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】 実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分
第10回	調理実習 (3) 「行事食」ちらしずし、清し汁、ミルクくずもち	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】 実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分

第11回	調理実習(4)「西洋料理」マカロニグラタン、野菜スープ、ヨーグルトサラダ	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分
第12回	調理実習(5)「行事食」正月料理	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートを作成し、要点をまとめ、課題を明らかにする。	90分
第13回	調理実習(6)「行事食」我が家のお雑煮	
	【予習】我が家の雑煮の作り方を家の人に習い、使用する材料の確認をする。	90分
	【復習】課題レポートを作成する。	90分
第14回	調理実習(7)生活習慣病予防のための食事	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】課題レポートを作成する。	90分
第15回	調理実習(8)「自由献立」高齢者の献立作成・調理	
	【予習】グループで献立作成・検討をおこない、材料の確認・用意、発表等の練習をする。	90分
	【復習】課題レポートを作成する。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ栄養素について理解し、正しく答えることができる。	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ栄養素について理解し、大体は答えることができる。	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ栄養素について理解し、ある程度答えることができる。	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ栄養素について理解が不十分である。	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ栄養素について理解ができていない。
LO-2	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考慮することができる。	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、大体の対応を考慮することができる。	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、ある程度の対応を考慮することができる。	高齢者・障害者の食におけるニーズの把握が不十分のため、対応を考慮するのに時間も要する。	高齢者・障害者の食におけるニーズの把握ができず、対応も考えが及ばない。
LO-3	健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活に努めている。	健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活を心がけている。	健康や食について関心はあるが、自己の食生活は適正ではない。	健康や食について関心も薄く、嗜好本位の食生活である。	健康や食について関心もなく、食生活も乱れがちである。
LO-4	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りができる。	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りを大体はできる。	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りをある程度はできる。	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りには時間を要する。	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りができない。
LO-5	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートは大体できる。	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートはある程度できる。	グループのメンバーと協調性を育むのに時間を要し、サポートもできない。	グループのメンバーと協調性を育めず、サポートもできない。

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-21				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	石黒 康子 富山 定子					
開講時期	2年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目						
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	自立に向けた居住環境の整備が個々の状況に応じて、よりよい支援ができるように学習します。 自立に向けた家事の介助の技法、家事に参加することを支える介護を学習します。								
学習目標	利用者が生活の中で求めている幸せとは何かを的確に捉える力と、個性のある自立・自律や社会参加に向けた生活支援ができるようになることをめざします。								
キーワード	自立 生活 家事 居住 環境整備								
テキスト・ 参考書等	久保田トミ子他、介護福祉士養成テキスト10 「生活支援技術」 建帛社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自立に向けた生活支援の技法や、個々の状況に応じた居住の環境整備に関する知識を習得している。								
LO-2	自立生活を支援するための必要な介護実践技術の基本を身につけている。								
LO-3	自立に向けた生活支援のためのニーズを的確に捉えることができる。								
LO-4	その人らしい自立生活支援に関心を持ち、課題解決のための創意工夫することができる。								
LO-5	他者に共感でき、自立に向けた生活支援のために協調・協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20	30					100
LO-1	25		10						35
LO-2				10					10
LO-3	25		10						35
LO-4				10					10
LO-5				10					10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自立に向けた居住環境の整備 健康と「すまい・環境」との関係、居住環境のアセスメント	
	【予習】健康と居住環境との関係を把握しておく	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、居住の環境整備の必要性をまとめる	90分
第2回	自立に向けた居住環境の整備 高齢者と環境整備	
	【予習】高齢者に伴う身体機能の低下のために、環境整備としてどうあるべきか考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、住環境の役割と支援のための要素をまとめる	90分
第3回	自立に向けた居住環境の整備 障害者と環境整備	
	【予習】障害に伴う機能の低下のために、環境整備としてどうあるべきか考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第4回	自立に向けた居住環境の整備 生活を支える「すまい・環境」	
	【予習】個々の状況に応じた環境整備について考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、環境整備の必要性についてまとめる	90分
第5回	自立に向けた居住環境の整備 住宅改修・ユニバーサルデザイン	
	【予習】誰もが住みやすい、使いやすい住環境についてユニバーサルデザインの視点で考える	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第6回	自立に向けた家事の介護 家事の意義・目的 家事支援に関するアセスメント	
	【予習】日頃の家事について、生活者としての見解をまとめる	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、衣生活の内容を整理する	90分
第7回	自立に向けた家事の介護 被服の管理	
	【予習】繊維の種類、洗たく、シミ抜き、管理についてテキストを読んでおくこと	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第8回	自立に向けた家事の介護 掃除用具・用剤の使い方と各部屋の掃除	
	【予習】掃除用具と用剤との関係について把握しておくこと	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第9回	自立に向けた家事の介護 水回り、ガス及び電気器具等の管理、ごみ処理等	
	【予習】各家庭の水回りや熱源の管理について把握しておく	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、支援のための要素をまとめる	90分
第10回	自立に向けた家事の介護 家事に参加することを支える介護の工夫	
	【予習】日々の生活での家事的種類や方法について考えてみる	90分
	【復習】授業での学習を振り返り、家事的介助としての支援方法を探る	90分

第11回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(1) 縫製の基礎 花ふきん	
	【予習】 運針の練習をする	90分
	【復習】 授業の課題を作成しながら、支援するための方法を探る	90分
第12回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(2) 縫製の基礎 ボタンつけ	
	【予習】 ボタン、ホックづけの練習をする	90分
	【復習】 授業の課題を作成しながら、支援するための方法を探る	90分
第13回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(3) ユニバーサルファッション製作	
	【予習】 グループで高齢者・障害者を想定し、着脱しやすい服を考案する	90分
	【復習】 工夫した点を製作していくため、必要な付属品の確認・準備をする	90分
第14回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(4) ユニバーサルファッション製作	
	【予習】 機能低下に伴い着脱しやすい服について、自己の見解をまとめる	90分
	【復習】 ユニバーサルファッションのためのレポート作成に向けて要点をチェックし、まとめる	90分
第15回	自立に向けた家事の介護 家事介助の技法(5) ユニバーサルファッション製作 発表会	
	【予習】 グループの発表に向けて、改善点や反省点をチェックする	90分
	【復習】 アイディア作品の応募用書類の記入内容をチェックし、下書用紙を作成する	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	自立に向けた生活支援の技法や、住環境整備に関する知識を十分に習得している。	自立に向けた生活支援の技法や、住環境整備に関する知識を大体習得している。	自立に向けた生活支援の技法や、住環境整備に関する知識をある程度習得している。	自立に向けた生活支援の技法や、住環境整備に関する知識の習得は不十分である。	自立に向けた生活支援の技法や、住環境整備に関する知識の習得はほとんどできていない。
LO-2	自立生活を支援するための必要な介護実践技術の基本を十分身につけている。	自立生活を支援するための必要な介護実践技術の基本を大体身につけている。	自立生活を支援するための必要な介護実践技術の基本を身につけている。	自立生活を支援するための必要な介護実践技術の基本が十分身につけていない。	自立生活を支援するための必要な介護実践技術の基本が身につけていない。
LO-3	自立に向けた生活支援のためのニーズを的確に捉えることができる。	自立に向けた生活支援のためのニーズを大体捉えることができる。	自立に向けた生活支援のためのニーズを捉えることができる。	自立に向けた生活支援のためのニーズを捉えるのに時間を要する。	自立に向けた生活支援のためのニーズを捉えることができない。
LO-4	その人らしい自立した生活支援に関心を持ち、課題解決のための創意工夫を大いにすることができる。	その人らしい自立した生活支援に関心を持ち、課題解決のための創意工夫をすることができる。	その人らしい自立した生活支援に関心は持つが、課題解決のために創意工夫に時間を要する。	その人らしい自立した生活支援に関心は持つが、課題解決のための考えが及ばない。	その人らしい自立した生活支援に関心も持たず、課題すら見出せない。
LO-5	他者に共感でき、自立に向けた生活支援のための協調・協働して大いに行動することができる。	他者に共感でき、自立に向けた生活支援のための協調・協働して行動することができる。	他者に共感でき、自立に向けた生活支援のための協調・協働して行動することに時間を要する。	他者に共感することはできるが、自立に向けた生活支援のために協調・協働して行動することができない。	他者に共感できず、自立に向けた生活支援のための協調・協働して行動することができない。

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-22				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	井上 理絵 松居 紀久子					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢・障害者の心理、障害者ケア論、生活支援技術		後継科目	なし					
関連科目	ターミナルケア論、介護過程各論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	死を迎えることや残された者の思いなど、さまざまな「死」を取り巻く状況を講義やグループワークをとおして学習します。終末期を理解し、QOLを高める身体・生活援助やコミュニケーション技術を身につけ、介護福祉士としての死生観を養います。								
学習目標	看取り介護の重要性を理解し、終末期から臨終期の適切なケアを理解します。 在宅・施設においての看取り介護におけるチームアプローチの中で介護福祉士としての役割を理解し、自分の死生観を養います。								
キーワード	終末期、終末期介護、死生観、グリーフケア、他職種連携、								
テキスト・ 参考書等	新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術」中央法規 ㈱三菱総合研究所 「特別養護老人ホームにおける看取り介護ガイドライン」2007年3月								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、終末期の介護技術の基本について十分に理解できる。								
LO-2									
LO-3	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を深めることができる。								
LO-4	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢が十分に見受けられる								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークの中で見ることができる。また、その場の状況に応じた適切な言葉かけを仲間にかけることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			40						40
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4			10						10
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	終末期の介護 終末期の意義と介護の役割	
	【予習】テキスト P 366 ~ P 373までを読んでくる	60分
	【復習】終末期の意味を学び、終末期ケアの考え方を理解し、終末期における介護の役割を学ぶ	120分
第2回	終末期の介護 高齢者の終末期医療	
	【予習】テキスト P 183 ~ P 1188までを読んでくる	60分
	【復習】看取りの場所の変化、医療の実際、インフォームドコンセントについて押さえる	120分
第3回	終末期の介護 在宅での看取り	
	【予習】テキスト P 188 ~ 199までを読んでくる	90分
	【復習】事例から自分の思いをまとめ、ワークシートに記入する	90分
第4回	終末期の介護 施設での看取り(1)	
	【予習】㈱三菱総合研究所「特別養護老人ホームにおける看取り介護ガイドライン」に目を通してくる	90分
	【復習】今まで体験してきた実習施設と照らし合わせて内容を考える	90分
第5回	終末期の介護 施設での看取り(2)	
	【予習】テキスト P 199 ~ 209までを読んでくる	90分
	【復習】看取り介護の具体的な実践内容を理解する	90分
第6回	終末期の介護 施設での看取り(3)	
	【予習】㈱三菱総合研究所「特別養護老人ホームにおける看取り介護ハンドブック」に目を通してくる	90分
	【復習】家族との連携の大切さや介護福祉士としての役割について考えを深める	90分
第7回	終末期の介護 緩和ケアの実際	
	【予習】緩和ケアとは何かを調べる	90分
	【復習】緩和ケアの具体内容について理解を深める	90分
第8回	終末期の介護 食事・睡眠を支える介護	
	【予習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第9回	終末期の介護 排泄・清潔を支える介護	
	【予習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第10回	終末期の介護 その人らしさを支える介護	
	【予習】終末期に必要なその人らしさを支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要なその人らしさを支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分

第11回	終末期の介護 死後の支援（エンゼルケア）	
	【予習】エンゼルケアについて調べる	90分
	【復習】死後の支援における介護福祉士の役割について理解を深める	90分
第12回	終末期の介護 グリーフケア	
	【予習】グリーフケアについて調べる	90分
	【復習】グリーフケアについての意義と具体的方法について理解を深める	90分
第13回	終末期の介護 エンディングノート DVD鑑賞	
	【予習】エンディングノートについて調べる	90分
	【復習】DVDを観ての感想をワークシートにまとめる	90分
第14回	終末期の介護 特別講義 「施設での看取りの実際」	
	【予習】実際に現場で働いている卒業生に看取りについて質問したいことをまとめる	90分
	【復習】施設での看取りの実際の特別講義から考えたことや思いをレポートにまとめる	90分
第15回	終末期の介護 まとめ課題「孤独死を介護福祉士として考える」についてレポート作成	
	【予習】孤独死について調べ、考えをまとめる	60分
	【復習】看とり介護全体から、孤独死を考え、介護福祉士の役割と関連させてレポートを作成する	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、臨終期の介護技術について理解が十分にできる。	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、臨終期の介護技術について理解ができる。	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、臨終期の介護技術について理解がある程度できる。	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、臨終期の介護技術について理解が多少できる。	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、臨終期の介護技術について理解ができない。
LO-2	終末期の人を支えるための介護技術を身に付けて、尊厳を大切にされたコミュニケーションを十分にとることができる。	終末期の人を支えるための介護技術を身に付けて、尊厳を大切にされたコミュニケーションをとることができる。	終末期の人を支えるための介護技術を身に付けて、尊厳を大切にされたコミュニケーションをある程度とることができる。	終末期の人を支えるための介護技術を身に付けて、尊厳を大切にされたコミュニケーションを多少とることができる。	終末期の人を支えるための介護技術を身に付けて、尊厳を大切にされたコミュニケーションをとることができない。
LO-3	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を深めることができている。	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を持っている。	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観をある程度持っている。	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を多少持っている。	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を考慮することができない。
LO-4	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢が十分に見受けられる。	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢が見受けられる。	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢がある程度見受けられる。	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢が多少見受けられる。	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢がない。
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークから見受けられることができ、その場に工夫した声かけを行うことが十分にできる。	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークから見受けられることができ、その場に工夫した声かけを行うことができる。	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークから見受けられることができ、その場に工夫した声かけを行うことができる程度にできる。	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークから見受けられることができ、その場に工夫した声かけを行うことが多少できる。	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークから見受けられることができ、その場に工夫した声かけを行うことができない。

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	石橋 郁子					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の立場に近づき、利用者が求めている支援を提供する視点に立ち、生きてきた時間と生活からその人を理解していくために介護過程という思考過程の基本を主に、テキストを使用しながら、学習します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、そしてアセスメントの意味を理解します。利用者個々のニーズを把握する能力と介護計画を立案する能力を養います。 「分析的思考」と「総合的思考」を養うためにICFの概要や考え方を習得します。								
キーワード	生活 幸せ 情報収集 アセスメント ICF								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解する能力を十分有する。 ICFの概要や考え方を理解することができる。								
LO-2	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が十分身につけている。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20		20				100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	20		10						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の意義 介護過程とは 自分の身近におきた最近の出来事(困ったこと・迷ったこと)についてどのように解決してきたか考える。	
	【予習】シラバスを読み、科目の内容や目的を抑える	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第2回	介護過程の意義 自分の身近におきた出来事について解決していくプロセスを理解する。グループワークを通して、解決していくプロセスを話し合う。	
	【予習】本学に入学する1カ月前の生活を振りかえり、自分の行動をノートにメモしておく。	60分
	【復習】他の人がどのように対応していたか、解決しているプロセスをワークシートを見て振り返る。	120分
第3回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。(1)コンセンサスゲーム 課題を通してグループワークをおこなう。グループ発表	
	【予習】テキストP5～7を読んでおく。	60分
	【復習】グループで検討した意見をワークシートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。コンセンサスゲーム(2) グループでより良い解決方法を検討しあう。発表する	
	【予習】テキストP5～9までを読んでおく	90分
	【復習】テキスト、ノートから学習したことを振り返る	90分
第5回	介護過程の意義 身近に起こる出来事を問題解決過程を使い思考できる。(3)事例1について考える。個人ワーク	
	【予習】テキストP1～9を読む	90分
	【復習】テキストP7の表1-1と自分が考えた事例1について振り返る。	90分
第6回	介護過程の意義 事例1についてグループワークをおこない、考えられる様々な方法を話し合う。グループ発表をおこなう。	
	【予習】前回の事例1のワークシートを見ておく	90分
	【復習】他のグループで発表された意見をワークシートを見て振り返る。	90分
第7回	介護過程の意義 介護過程の意義・目的・展開について学習する	
	【予習】テキストP12～P15を読んでおく	60分
	【復習】本時のノートとテキスト範囲を読み振り返る。	120分
第8回	介護過程の基礎的理解(1)介護過程の展開	
	【予習】テキストP13～18を読んでおく	90分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	90分
第9回	介護過程の基礎的理解(2)介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP18～21を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	120分
第10回	介護過程の基礎的理解(3)介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP23～32を読んでおく	60分
	【復習】ニーズとは何か本時のノートを見て振り返る。	120分

第11回	介護過程の展開 介護過程におけるニーズ ニーズを見つける視点について分かる。マズローの基本的欲求がわかる。	
	【予習】テキストP26～P43を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、テキスト範囲からニーズについて振り返る。	120分
第12回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(1) 介護過程の構成要素とアセスメントについて理解する。ICFの構成要素についてわかる	
	【予習】テキストP13～P14 59～61を読んでおく	90分
	【復習】アセスメントについてノート及びテキスト範囲から振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(2) アセスメント情報収集について分かる。身近な人の事例課題2をICFの視点でワークシートに記述する(自己ワーク)	
	【予習】テキストP61～P62を読んでおく	90分
	【復習】本時の課題から事実を情報収集することを振り返る。	90分
第14回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(3) 身近な事例2について情報収集をICFの視点を用いたワークシートに記述したものをを用いて発表をし、他グループからの意見を聞く。	
	【予習】テキストP50をよく読む。	90分
	【復習】グループで情報収集した内容を見直してみる。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(4) グループで集めた情報をアセスメントする。コンセンサスゲーム 既定のシートにグループから出た情報を記述し、アセスメントを行う。グループ発表	
	【予習】グループで情報収集した内容をテキストP50を参考に見直し、発表の準備をしておく。	90分
	【復習】他のグループ発表を聞いて、情報収集について振り返る。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解する能力を十分有する ICFの概要や考え方を理解することができる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解する能力を有する ICFの概要や考え方を理解できる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性をある程度理解できる ICFの概要や考え方をある程度理解することができる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を多少理解する ICFの概要や考え方を多少理解することができる	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解できない ICFの概要や考え方を理解していない
LO-2	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が十分身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力がある程度身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が多少身についている	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が身についていない
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力をある程度有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を多少有する	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力がない
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようとして意欲的に行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとして行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとしてある程度行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとして多少行動することができる	介護過程を展開するために必要な情報や知識を修得しようとして行動することができない
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についており、	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢をある程度身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本がわかり、他者の意	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を多少身につけている 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が多少身についてお	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿が身についていない 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についておらず

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程	担当教員名	井上 理絵 松居 紀久子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	井上 理絵 石橋 郁子 松居 紀久子					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	介護福祉論 ～ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習で作製した受け持ち利用者の情報収集から I C F の視点に基づいてアセスメントを理解します。介護過程を展開していく上で、生活課題と目標、介護計画の立案、実施、評価していく際の観点や留意点を学びます。利用者の自立支援の視点に立ち、利用者の状況、状態に応じた介護過程を展開していく能力を身につけます。								
学習目標	1. I C F の視点をとおしてアセスメントし、計画的に実践・評価することを理解する。 2. 利用者の状況に応じて、介護過程を展開できる能力を身につける。 3. 事例検討を通して、司会や参加者の役割などカンファレンスに必要な能力を身につける。								
キーワード	他職種連携、計画立案・実施・評価、再アセスメント、ケースカンファレンス								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社 介護福祉教育研究会 「楽しく学ぶ介護過程」 久美出版 大川弥生著 『「よくする介護」を実践するための I C F の理								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を十分に理解している。								
LO-2	介護過程の展開を本案作成の I C F モデルシートに的確に記録し、記述することができる。								
LO-3	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術を I C F の視点を基にして、介護過程の展開に十分に生かすことができる。								
LO-4	介護過程を展開（アセスメント・計画立案・実施評価）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと予習・復習を確実に取り組んでいる。								
LO-5	事例検討会での司会や記録などの役割を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		20		10				100
LO-1	40								40
LO-2			10						10
LO-3	30								30
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ICFの構成要素について確認する。ICFの視点から計画実習で受け持った利用者の情報を見直し、情報収集の必要性を理解する。ICFの視点を記述し、E-1を完成させる	
	【予習】テキストP50～見直す 介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集について見直す。	120分
第2回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (1) 自己の事例のアセスメントを展開する。E-1から課題を明確にしE-2を完成させる	
	【予習】テキストP60～80を読んでおく。	60分
	【復習】情報収集からアセスメントについてテキスト、ノートから振り返る。自己の事例でE-1を完成させる	120分
第3回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する(2) 複数の情報を判断していく過程が分かる。ICFの10の視点から介護上の課題を取り上げ、E-2から援助計画を考えF表を作成する。課題解決に向けた優先順位と重要性和緊急性について理解する。	
	【予習】テキストP97～126を読んでおく	60分
	【復習】情報を判断していく過程をテキスト、実習の手引き、ノートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントが理解できる(3) 取り上げた課題の優先順位について分かり、自己の課題についてE-1・E-2・Fを見直し発表する準備ができる。	
	【予習】テキストP95～126を再度読み、自己事例を見直す。	60分
	【復習】本時の授業からテキスト、実習の手引きから振り返り自己事例を完成させ提出する	120分
第5回	介護過程の展開 グループワーク 自己の事例から課題として取り上げたものについて発表する。	
	【予習】情報収集・整理について復習してくる。	90分
	【復習】グループメンバーの意見を受け、自己事例のアセスメントを振り返る	90分
第6回	介護過程の展開 共通事例1をととして、事例の全体像を理解する。10の視点E-1を記述できる(1)	
	【予習】事例 の情報を読み全体像を考えておく。ICFの10の視点について復習してくる。	90分
	【復習】テキスト、実習の手引きからICFの10の視点を振り返る。	90分
第7回	介護過程の展開 グループワーク 各自で考えた共通事例1の10の視点を、意見交換し、介護上の課題を抽出する。グループで E-1 E-2を作成する	
	【予習】自分で考えた、事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る	90分
第8回	介護過程の展開 グループワーク 介護上の課題2つを取り上げ、アセスメントE-2表から援助計画F表を検討していく	
	【予習】自分で考えた事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで意見交換した10の視点E-1・E-2を完成させ提出する	90分
第9回	介護過程の実践的展開 介護計画を立案していく過程が理解できる。グループワーク 共通事例1について アセスメントから課題を引出し、援助計画を立案するプロセスについてグループで検討し、発表の準備ができる。	
	【予習】テキストP96～101を読んでおく。実習の手引きP41を読んでおく。	90分
	【復習】本時の授業内容をテキスト、実習の手引きで振り返る。	90分
第10回	介護過程の実践的展開 共通事例1 グループ発表 意見交換	
	【予習】テキストP132～140を読んでおく。実習の手引きP42を読んでおく。	90分
	【復習】介護計画を立案していく過程を振り返る。	90分

第11回	介護過程の実践的展開 共通事例2における事例の全体像についてグループで意見交換し、情報を整理してE-1表を作成する。	
	【予習】共通事例2を読み、事例の全体像を考える	90分
	【復習】10の視点について見直しておく。実習の手引きP10 51~56を参考にする。	90分
第12回	介護過程の実践的展開 共通事例2のアセスメントをおこないE-1からE-2、F表を作成する。	
	【予習】実習の手引きP41を確認しておく。	90分
	【復習】アセスメントする過程を振り返る。	90分
第13回	介護過程の実践的展開 共通事例2をとおして 介護上の課題そして介護計画を立案していく過程を振り返り E-1・E-2・F表を見直し、発表の準備ができる。	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】テキストP132~147を参考にする。実習の手引きP42を読み確認する。	90分
第14回	介護過程の実践的展開 共通事例2について、発表し意見を交換する	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】グループワークで検討した意見について振り返る。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程の実施と評価、総合評価について理解し、記録用紙G表の記述ができる。	
	【予習】テキストP148~198を読んでおく。実習の手引きP43を読んでおく。	90分
	【復習】介護過程の展開についてテキスト、実習の手引きで確認しておく。	90分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第17回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第18回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第19回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第20回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第22回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第23回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第24回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第25回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第26回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第27回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第28回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第29回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第30回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を十分に理解している。	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を理解している。	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法をある程度理解している。	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を多少理解している。	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を理解していない。
LO-2	介護過程の展開をそれぞれのシートに的確に記録し、記述することが十分にできる。	介護過程の展開をそれぞれのシートに的確に記録し、記述することができる。	介護過程の展開をそれぞれのシートに的確に記録し、記述することがある程度できる。	介護過程の展開をそれぞれのシートに的確に記録し、記述することが多少できる。	介護過程の展開をそれぞれのシートに的確に記録し、記述することができない。
LO-3	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術をICFの視点を基にして介護過程の展開に十分に生かすことができる。	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術をICFの視点を基にして介護過程の展開に生かすことができる。	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術をICFの視点を基にして介護過程の展開にある程度生かすことができる。	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術をICFの視点を基にして介護過程の展開に多少生かすことができる。	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術をICFの視点を基にして介護過程の展開に生かすことができない。
LO-4	介護過程を展開(アセスメント・計画立案・実施評価)するために必要な情報や知識を積極的に修得しようとする意欲的に行動することができる。	介護過程を展開(アセスメント・計画立案・実施評価)するために必要な情報や知識を修得しようとする行動することができる。	介護過程を展開(アセスメント・計画立案・実施評価)するために必要な情報や知識を修得しようとする程度行動することができる。	介護過程を展開(アセスメント・計画立案・実施評価)するために必要な情報や知識を修得しようとする程度行動することができる。	介護過程を展開(アセスメント・計画立案・実施評価)するために必要な情報や知識を修得しようとする行動することができない。
LO-5	模擬ケースカンファレンスでの司会や記録、発言者などの立場を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくこ	模擬ケースカンファレンスでの司会や記録、発言者などの立場を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくこ	模擬ケースカンファレンスでの司会や記録、発言者などの立場を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくこ	模擬ケースカンファレンスでの司会や記録、発言者などの立場を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくこ	模擬ケースカンファレンスでの司会や記録、発言者などの立場を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくこ

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-14				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	石橋 郁子 井上 理絵 松居 紀久子					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	松居 紀久子 石橋 郁子					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習、実習指導					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者と接することができるようにロールプレイで実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者とは接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、訪問介護、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	平成28年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基本理解 介護実習の意義と目的 について説明します。 自宅近隣の実習施設調査について説明します。	
	【予習】介護実習についてイメージし、疑問点を考える。	20分
	【復習】実習の予定を確認し、実習施設について調査票を記入できるようにする。	25分
第2回	介護計画実習報告会	
	【予習】報告集を読み、質問、意見を発表できるようにまとめておく。	0分
	【復習】レポート提出	0分
第3回	実習施設についての理解(1) 高齢者介護施設の概要と生活について説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	40分
	【復習】各種施設での生活の特徴を整理する。	20分
第4回	実習施設についての理解(2) 障害児・者の概要 障害者の生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	30分
	【復習】調査を方向発表できるようにまとめる。	30分
第5回	実習施設についての理解(3) 在宅系サービスの概要 在宅生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	40分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする。	20分
第6回	介護実習の方法(1) 到達目標についての理解ができるように、実習の詳細を説明します。	
	【予習】調査を方向発表できるようにまとめる。	30分
	【復習】実習に向けて具体的取り組みをイメージし、2年生に確認する。	30分
第7回	介護実習の方法(2) 到達目標についての理解ができるように、実習の課題を整理します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】実習の手引きを読む。	25分
第8回	介護実習の方法(3) 到達目標を達成するための取り組み方を考え、発表します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】不明な点を考え、質問できるように講義内容、手引きを確認する。	25分
第9回	介護実習における記録(1) 日々の活動記録の実際について説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】課題を作成し提出する。	40分
第10回	介護実習における記録(2) 利用者との関わりの記録の実際について先輩の事例から説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】課題を作成し提出する。	40分

第11回	介護実習に対する準備(1) 実習の心得。実習時に出会う問題について具体的に説明します。	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)を読む。	20分
	【復習】実習の手びきを読む。	25分
第12回	介護実習に対する準備(2) 基本的な接遇について実践的に学びます。	
	【予習】一般的なマナーを調べる。	20分
	【復習】自分の行動を振り返り、マナーの実践を生活に取り入れる。	25分
第13回	オリエンテーション(1) 実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)、テキスト(カンファレンスについて)を読む。	20分
	【復習】施設に事前訪問の予約を取り、報告する	40分
第14回	特別講義 施設における介護と介護職員の役割と実習生に望むことについて、実習指導者を迎えて講義を受けます。	
	【予習】手引き確認し読む。	20分
	【復習】事前レポート作成	40分
第15回	実習スケジュール、評価について説明します。	
	【予習】実習の手びき(実習の心得)を読む。	20分
	【復習】実習の必要物品準備、試験に向けて復習する。	40分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を十分理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、十分説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を一部理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を一部理解し、説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を多少理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、多少(6割以上)説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できない。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できない。
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が十分習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢がおおた習得できる。各種記録の目的を理解し、記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が一部習得できる。各種記録の目的を理解し、記録に時間を要する。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が習得できない。各種記録の目的を理解し、記録し提出できない。
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組みが消極的で、自己の考えをまとめレポートに作成し提出できる。	課題の調査に取り組みが不十分で、自己の考えをまとめずレポート作成に時間を要する。	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し提出できない。
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートが良くなる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートがおおたできる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートに困難がある。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできない。
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーが十分とれる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーが一部とれる。	実習生・介護福祉士としての自覚が薄く、相手の立場を理解した適切なマナーに困難がある。	実習生・介護福祉士としての自覚が無く、相手の立場を理解した適切なマナーがとれない。

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	松居 紀久子 井上 理絵					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護福祉論、生活支援技術、コミュニケーション論、コミュニケー		後継科目	実習指導、介護過程実習					
関連科目	介護過程、生活支援技術、介護計画実習、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	基礎実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、新たな学習課題を明確にします。また、グループワーク等により情報・体験を共有化を図り学びを深めます。介護計画実習に向けて、介護過程の展開を基に、介護計画立案に必要な情報収集に関する知識を習得します。								
学習目標	基礎実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。介護計画実習に向けての目標を理解し、実習記録の書き方や利用者理解の方法が習得できる。								
キーワード	介護計画実習、ICFの視点、情報収集、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	「平成27年度 介護実習の手引き」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30		10	20			100
LO-1	20								20
LO-2	20		10						30
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他Aについては、授業中の意見発表、グループワーク活動、参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習指導 授業の概要説明 介護計画実習までの流れ 基礎実習 事後学習(1) 訪問介護実習の振り返り	
	【予習】基礎実習訪問・施設 実習ファイルの確認をする。実習の手引き参照	30分
	【復習】基礎実習・訪問を終えて明らかになった課題を、指示された用紙に記入する。	60分
第2回	基礎実習 事後学習(2) 基礎実習・訪問 振り返り	
	【予習】訪問介護の目的について確認をする。	30分
	【復習】訪問介護実習の振り返りを通して、訪問介護の意義について指定の用紙に記入する。	60分
第3回	基礎実習 事後学習(3) 事前・事後レポートを読み返し、達成状況を客観的に整理する。そのことをとおして、残された課題を明らかにする。	
	【予習】B表の事例についてあらかじめ読んでくる。	30分
	【復習】B表の振り返りを用紙に記入する。	60分
第4回	基礎実習 事後学習(4) B表を振り返ります。	
	【予習】「実習の手引き」B表の要点を熟読してください。	30分
	【復習】事例課題の作成、提出。	60分
第5回	基礎実習 事後学習(5) C表 利用者との関わりの過程を振り返ります	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】授業で提示されたC表を完成する。	60分
第6回	基礎実習 事後学習(6) B表の振り返りをします。(まとめ・発表)	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】C表のポイントについて、再確認します。	60分
第7回	介護計画実習 事前学習(1) 実習のねらいと到達目標について説明します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】介護計画実習の流れを確認します。	60分
第8回	介護計画実習 事前学習(2) 受け持ち利用者像について明確にします。	
	【予習】平成27年度介護計画実習報告集を読んでくる。興味・関心を持った事例を3例取り上げる。	30分
	【復習】介護計画実習での各自の受け持ちたい利用者像を用紙に記入する。	60分
第9回	介護計画実習 事前学習(3) 実習課題の明確化 日々の実習目標の作成	
	【予習】実習の手引き「今日の実習目標」要点を読んでくる。	30分
	【復習】授業中の課題を完成する。	60分
第10回	介護計画実習 事前学習(4) 生活支援技術の確認 受け持ち利用者像の最終確認をして、実習での具体的な行動を計画します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】課題作成、提出。	60分

第11回	特別講義 介護計画実習にむけて、実習指導者から講義を受けます。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】事前レポート作成、提出。	60分
第12回	実習で想定される問題点に対する対応策を検討します。	
	【予習】事前レポート作成、提出	60分
	【復習】授業で提示された事例を振り返る。	60分
第13回	レクリエーション企画立案・報告書の書き方について説明	
	【予習】実習の手引きを読んでくる	30分
	【復習】レクリエーション企画書・報告書の確認	60分
第14回	介護計画実習で使用する記録用紙の配布。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】定期試験対策	60分
第15回	事前打ち合わせの オリエンテーション	
	【予習】定期試験対策	30分
	【復習】定期試験対策	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を的確に説明できる。	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質が一部理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、おおむね生活を説明できる	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質の理解に努力を要する。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明することが	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できない。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できない。
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、記録し期限内に提出できる。	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が一部習得できる。各種記録の目的を理解し、記録しに提出できる。	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢の習得に時間を要する。各種記録の目的を理解し、記録し提出することに時間	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢が習得できない。各種記録の目的を理解し、記録し提出できない。
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをおおまかにまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成することが困難であるが提出できる。	課題の調査に取り組まず、自己の考えをまとめレポートに作成しに提出できない。
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。	授業に参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできる。	授業に参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートの補助ができる。	授業に参加し意見を述べるが、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできない。	授業に参加し意見を述べず、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできない。
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うようにおおむね努力できる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように考えられる。	実習生・介護福祉士としての自覚が薄く、専門職としての資質を養うことに困難がある。	実習生・介護福祉士としての自覚が無く、専門職としての資質を養うように努力できない。

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	井上 理絵 松居 紀久子					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	石橋 郁子 井上 理絵					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	基礎実習			科目コード	W129-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	松居 紀久子					
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習、実習指導					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者と接することができるようにロールプレイで実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者と接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、訪問介護、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	平成28年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。評価は、施設評価、学内評価合わせて総合評価とする								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基本理解 介護実習の意義と目的 について説明します。	
	【予習】介護実習についてイメージし、疑問点を考える。	60分
	【復習】実習の予定を確認し、自分の生活スケジュールを考える	30分
第2回	実習施設についての理解(1) 高齢者介護施設の概要と生活について説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	60分
	【復習】各種施設での生活の特徴を整理する。	30分
第3回	実習施設についての理解(2) 在宅系サービスの概要 在宅生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	60分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする。	60分
第4回	実習施設についての理解(3) 障害児・者の概要 障害者の生活を支援することについて説明します。	
	【予習】在住地域の施設について調べる。	60分
	【復習】調査を方向発表できるようにまとめる。	30分
第5回	介護実習の方法(1) 到達目標についての理解ができるように、実習の詳細を説明します。	
	【予習】調査を方向発表できるようにまとめる。	60分
	【復習】実習に向けて具体的取り組みをイメージし、2年生に確認する。	60分
第6回	介護実習の方法(2) 到達目標についての理解ができるように、実習の課題を整理します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	60分
	【復習】実習の手引きを読む。	30分
第7回	介護実習の方法(3) 到達目標を達成するための取り組み方を考え、発表します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	60分
	【復習】不明な点を考え、質問できるように講義内容、手引きを確認する。	30分
第8回	介護実習における記録(1) 日々の活動記録の実際について説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	60分
	【復習】課題を作成し提出する。	60分
第9回	介護実習における記録(2) 利用者との関わりの記録の実際について先輩の事例から説明します。	
	【予習】実習の手引きを読む。	60分
	【復習】課題を作成し提出する。	60分
第10回	介護実習に対する準備(1) 実習の心得。実習時に出会う問題について具体的に説明します。	
	【予習】実習の手引き(実習の心得)を読む。	60分
	【復習】実習の手引きを読む。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を十分理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、十分説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を一部理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を一部理解し、説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を多少理解できる。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、多少説明できる。	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できない。利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できない。
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が十分習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が習得できる。各種記録の目的を理解し、正確に記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢がおおた習得できる。各種記録の目的を理解し、記録し期限内に提出できる。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が一部習得できる。各種記録の目的を理解し、記録に時間を要する。	利用者・家族、職員に対する実習生としての心得を理解し、適切にかかわる基本姿勢が習得できない。各種記録の目的を理解し、記録し提出できない。
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し期限内に提出できる。	課題の調査に取り組みが消極的で、自己の考えをまとめレポートに作成し提出できる。	課題の調査に取り組みが不十分で、自己の考えをまとめずレポート作成に時間を要する。	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめレポートに作成し提出できない。
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートが良くなる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートがおおたできる。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートに困難がある。	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し進行・サポートできない。
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーが十分とれる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーが一部とれる。	実習生・介護福祉士としての自覚が薄く、相手の立場を理解したマナーに困難がある。	実習生・介護福祉士としての自覚が無く、相手の立場を理解した適切なマナーがとれない。

授業科目名	介護計画実習			科目コード	W129-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習	担当教員名	西井 啓子 松居 紀久子						
開講時期	1年後期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	実習指導	後継科目	実習指導						
関連科目	基礎実習 生活支援技術 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の背景を知り、個人の全体像を把握することができるよう、情報を収集していくことを目指します。また、利用者の個別的ニーズがわかり、反応を確かめながら介護を展開します。								
学習目標	1. 受け持ち利用者の全体像を把握し、ICFに基づいて記録できる。 2. 多職種との協働を経験し、介護職員の役割が理解できる。 3. 自立に向けた援助の在り方を考え、実践できる。 4. 受け持ち以外の利用者の状態を大まかにとらえることができる。 5. 利用者の生きがいを高める活動を企画・実践する事ができる。 6. 施設職員の役割が理解できる。 7. 設定した実習課題を実践し、評価する事ができる。								
キーワード	介護計画実習、受け持ち利用者、ICF、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の理解 受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。 配属された実習場所で生活をしているその他の利用者を大まかに捉える事ができる。								
LO-2	生活支援技術 個別なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。 自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。 利用者の生きがいを高める活動を企画・実践することができる。								
LO-3	記録と計画 利用者の全体像が分かるように、具体的に記録する。 実行可能な開度計画を立案し、簡潔に記録できる。								
LO-4	チームワーク 受け持ち利用者を中心に多職種との協働を経験できる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が理解できる。 社会的役割 地域における施設職員及び介護職員の役割が理解できる。 ボランティアの受け入								
LO-5	実習課題 設定した課題を実践し、評価することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30			70			100
LO-1			10			14			24
LO-2						14			14
LO-3						14			14
LO-4						14			14
LO-5			20			14			34
備考	施設評価 7割、学内評価 3割で、総合評価とします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】 実習施設（パンフレット、HPなど確認）・実習指導者確認。 交通手段・時間・服装確認。 実習先に電話でアポイントを取る。 事前レポート完成 受け持ちしたい利用者像を記入。 A・B表記入	0分
	【復習】 A・B表記入	0分
第2回	2日目 1.受け持ち利用者を決定するため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学する。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 A表追記	0分
第3回	3日目 1.受け持ち利用者を決定する。 2.生活支援技術の説明・見学・体験する。(ADLの比較的自立している利用者の食事・排泄・移動・環境の整備の介助の補助をする。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。	0分
第4回	4日目 1.利用者に自分からかわかり、本人の思いを引き出すように意図的な会話を展開して情報収集する。 2・3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表記入 レクリエーションの企画書作成。	0分
第5回	5日目 1・2・3・6・7は同様。 8.受け持ち利用者の情報・生活支援方法の根拠を考え、指導者・担当教員と相談する。 9.レクリエーションの相談・確認を行う。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 C・D表を記入する。 経験録を記入確認する。 レクリエーションの準備。	0分
第6回	6日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表を記入する。	0分
第7回	7日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	0分
	【復習】 自己課題をまとめておく。	0分
第8回	8日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・D表記入 レクリエーションの準備をする。	0分
	【復習】 D表の下書き完成 自己課題を調査まとめておく。	0分
第9回	9日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・D表記入	0分
	【復習】 カンファレンスの準備 自己課題をまとめておく。	0分
第10回	10日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。 まとめおよび反省会	
	【予習】 B表記入 反省会の準備をする。	0分
	【復習】 A表・B表・C表(2枚)・D表・レクリエーション企画書・報告書・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	利用者とかかわりをもつなかで必要な情報を得ることができる。さまざまな職種から利用者の情報を収集することができる。収集した情報を概観し、不足	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、できない。
LO-2	心身の状況を大まかに把握し、自立支援を目指した介護のあり方を確認でき、安全・安楽に確実に行うことができる。利用者の潜在能力を観察し、	左記の内容について、ある程度実施できる。	左記の内容について、多少実施できる。	左記の内容について、指導の下で実施できる。	左記の内容について、できる。
LO-3	D1～D3までの記録様式に従い、情報を収集し、具体的に十分に記録することができる。B表、C表を的確に記録することが十分にでき、提出期日を	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、できない。
LO-4	受け持ち利用者を中心に多職種との協働を十分にできる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が十分理解でき	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、ある程度できない。
LO-5	実習全体の自己課題が事前レポートで明確になっており、それを受けて「今日の実習目標」も毎日十分明確になっている。	左記の内容について、ある程度できる。	左記の内容について、多少できる。	左記の内容について、助言を受けてできる。	左記の内容について、できない。

授業科目名	介護過程実習			科目コード	W129-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	井上 理絵					
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	4単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第16回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第17回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第18回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第19回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第20回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	総合実習			科目コード	W129-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	石橋 郁子					
開講時期	2年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W131-10				
科目区分	専門科目 - 医療的ケア	担当教員名	西井 啓子						
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	4単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第16回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第17回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第18回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第19回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第20回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第21回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第22回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第23回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第24回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第25回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第26回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第27回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第28回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第29回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第30回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第31回	【予習】	分
	【復習】	分
第32回	【予習】	分
	【復習】	分
第33回	【予習】	分
	【復習】	分
第34回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W131-11				
科目区分	専門科目 - 医療的ケア		担当教員名	西井 啓子 石橋 郁子 松居 紀久子					
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W151-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W151-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	医療・福祉とICT			科目コード	W151-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	医療事務概論			科目コード	W153-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	西井 啓子						
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	介護事務概論 医療秘書実務 診療報酬請求事務						
関連科目	福祉ビジネス ・ 、インターンシップ								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	我が国及び世界における医療の歩みを理解し、医療の目的及び健康状態の維持・増進について理解を深める。そして、医療組織の中で働く意義、役割を理解し、医療者に必要とされる責務と倫理、医療に関する法規、規則、感染症等のガイドラインの基礎知識を習得する								
学習目標	日本国憲法と社会保障の関連性を理解する。 医療の歴史を理解し、健康と医療の関連について理解する。 医療事務に必要な基礎的知識を習得する。								
キーワード	健康 医療保険制度 医療的機関 外来業務 接遇								
テキスト・ 参考書等	医療事務[第2版] 医療秘書教育全国協議会編 長面川さより・丹野清美・齋藤麻衣子共著 建帛社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。								
LO-2	患者接遇の基本が身についている。(窓口対応、電話対応)								
LO-3	医療チームの一員として、自分の健康感を持ち、健康な体作りや環境について意見述べることができる。								
LO-4	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20			30	10			100
LO-1	40	20							60
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4						10			10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、健康とは上橋菜穂子と津田篤太郎の対談から学ぶ 各自の健康観を考える	
	【予習】WHOの健康の定義を調べる	30分
	【復習】健康の概念を整理する。	30分
第2回	医療の歴史(1) 民間療法に関する文献学習を通して、東洋医学の一端に触れる。GW	
	【予習】民間療法について家族から情報を収集する。	30分
	【復習】民間療法をまとめる。	30分
第3回	医療の歴史(2) 民間療法に関する文献学習したことを発表する。	
	【予習】発表内容をまとめる。	30分
	【復習】民間療法をまとめる。	30分
第4回	医療の歴史(3) 東洋医学と西洋医学	
	【予習】西洋医学の特徴について調べる	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第5回	医療保険制度 (医療保険の概要、保険の給付、健康保険、国民健康保険ほか)	
	【予習】各自の健康保険の種類を調べてくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第6回	保険医療機関と窓口業務 (医事担当者の心得 外来・入院業務 窓口会計業務)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第7回	医療保険制度 (船員保険、各種共済組合法、退職者医療制度)、後期高齢者医療制度	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第8回	医療保険制度 (後期高齢者医療制度)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第9回	労働者災害補償保険・自動車損害賠償保険法	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第10回	医事法規一般(医療保障制度の基礎用語、医療法)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分

第11回	医事法規一般（医療保険各法）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第12回	医事法規一般（療養担当規則）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第13回	診療報酬請求業務	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第14回	診療録（医科医療用語・略語、カルテ読解に必要な事項）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】今までに学習したことを振り返る。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。（9割	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。（8割	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。（7割	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。（6割	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。（6割
LO-2	患者接遇の基本が身についている。 9割以上	患者接遇の基本が身についている。 8割以上	患者接遇の基本が身についている。 7割以上	患者接遇の基本が身についている。 6割以上	患者接遇の基本が身についている。 6割以下
LO-3	医療チームの一員として、自分の健康感をもち、健康な体作りや環境について意見を述べる ことができる。論旨に一貫性があり、妥当性が十分に評価でき	医療チームの一員として、自分の健康感をもち、健康な体作りや環境について意見を述べる ことができる。論旨に一貫性があり、妥当性がある程度評価で	医療チームの一員として、自分の健康感をもち、健康な体作りや環境について意見を述べる ことができる。論旨に一貫性があり、妥当性が多少は評価でき	医療チームの一員として、自分の健康感をもち、健康な体作りや環境について意見を述べる ことができる。論旨の一貫性や妥当性のどちらかが不十分であ	医療チームの一員として、自分の健康感をもち、健康な体作りや環境について意見を述べる ことができる。論旨の一貫性や妥当性の両方が不十分である。
LO-4	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。（無遅刻、無欠席、毎回授業アンケートに建設的な意見の記入がある。9割以上	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。（無遅刻、無欠席、毎回授業アンケートに建設的な意見の記入がある。	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。（無遅刻、無欠席、毎回授業アンケートに建設的な意見の記入がある。	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。（無遅刻、無欠席、毎回授業アンケートに建設的な意見の記入がある。	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。（無遅刻、無欠席、毎回授業アンケートに建設的な意見の記入がある。
LO-5					

授業科目名	医療秘書実務			科目コード	W153-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	西井 啓子 石黒 康子						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	診療報酬			科目コード	W153-12				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	西井 啓子 小野 淳一						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	診療報酬			科目コード	W153-13				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	西井 啓子 松島 紘子						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	介護事務概論			科目コード	W153-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	西井 啓子 松島 紘子						
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	インターンシップ			科目コード	W153-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	関 好博 吉牟田 裕 立島 真 西井 啓子 石橋 郁子						
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	富山型福祉特別講義			科目コード	W153-40				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	関 好博						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	社会保障論			科目コード	W171-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博						
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	児童家庭福祉論			科目コード	W171-21				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	福祉学 学科マスター						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W171-31				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W171-32				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク		担当教員名	森脇 俊二					
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論 ～ 、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・ 、リハビリテーション論、児童福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)、社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)								
授業の概要	1. 地域福祉の歴史、地域福祉の考え方を理解できるようになること。2. 現状における地域課題や個別課題、それに対応する支援策を理解できるようになること								
学習目標	履修される学生の生まれ育った地域を常に意識でき、今の自分に何ができるかを考えられるようになること。								
キーワード	地域福祉、地区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会活動								
テキスト・ 参考書等	地域福祉論 地域福祉の理論と方法 著書 社会福祉学習双書 発行 全国社会福祉協議会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方及び原則を理解できること。								
LO-2	課題に対して、具体的な支援をイメージすることができること。								
LO-3	生活課題、地域課題をしっかりと汲み取ることができること。								
LO-4	福祉に限らず、生活に関わる情報を収集し、課題解決策へつなげるための資質向上を常に図ることができること。								
LO-5	専門職としてではなく、一人の人間として、近隣住民との関わりの中で、自分に何ができるかを考えられるようになること。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75		25						100
LO-1	15		5						20
LO-2	15		5						20
LO-3	15		5						20
LO-4	15		5						20
LO-5	15		5						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講義の進め方の確認、地域福祉の考え方について	
	【予習】教科書の読み込み	30分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第2回	地域福祉の歴史	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第3回	現代における生活課題の傾向について	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】具体的な生活課題を考える（レポート提出）	0分
第4回	生活課題に対する支援策の紹介	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第5回	地域福祉に関わる人材の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第6回	地域福祉に関わる組織の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第7回	地域福祉事例検討	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第8回	地域福祉に関わる専門職の紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第9回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第10回	地域福祉サービスの紹介	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分

第11回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】DVDに関する感想をまとめる	0分
第12回	地域福祉計画の紹介	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第13回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第14回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	0分
第15回	地域福祉の先進事例紹介（DVD紹介含む）	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】自分の出身地の社会福祉協議会の取り組みを調べる	180分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	相談援助の理論と方法			科目コード	W171-50				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博						
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	相談援助の理論と方法			科目コード	W171-51				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博						
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	相談援助演習			科目コード	W171-52				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博 室林 孝嗣						
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第16回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第17回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第18回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第19回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第20回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第21回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第22回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第23回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第24回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第25回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第26回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第27回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第28回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第29回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第30回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W181-10				
科目区分	専門科目 - キャリア	担当教員名	西井 啓子						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W181-30				
科目区分	専門科目 - キャリア	担当教員名	石橋 郁子 西井 啓子 立島 真 関 好博 吉牟田 裕						
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護福祉士指定科目の全て	後継科目	介護福祉総合演習						
関連科目	介護福祉士指定科目の全て								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」の3領域を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験(基礎編・実力編)を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習します。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験、人間と社会の領域、こころとからだのしくみ領域、介護領域、基本知識								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト、配布資料、模擬問題集またはワークブック								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解していくことができる。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点が取得できる。								
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させていくことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	30							100
LO-1	40	10							50
LO-2									
LO-3	10	10							20
LO-4	10	10							20
LO-5	10								10
備考	毎回の小テスト、模擬試験、で習熟度でグループ編成し、授業をします。成績は、期末試験・毎回の小テスト・模擬試験で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本科目に関するガイダンス 前期のすすみ方、自己の学習の仕方、模擬試験について説明 2回の実力試験範囲分かる	
	【予習】本シラバスを読み講義の概要・目的を抑え、科目の進み方が分かる	90分
	【復習】次回の実力試験に向けて 理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
第2回	実力試験 1 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験 1 回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述する。	90分
第3回	実力試験 2 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験 2 回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述できる	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けたみじたく・移動・食事・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解する。	
	【予習】自立に向けたみじたく・移動・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解不足のところをテキストで、振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第7回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けた住居環境・家事援助について理解する。	
	【予習】自立に向けた住居環境・家事援助において基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第8回	領域介護：介護過程 介護過程の意義と目的、情報集とアセスメント、介護過程の展開、チームアプローチについて必要な知識を理解する。	
	【予習】介護過程の意義と目的、アセスメントの定義と方法、情報収集の方法と解釈、介護過程の展開、評価について基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第9回	領域：こころとからだのしくみ 人体を構成している各組織や器官の構造を理解する。生体の機能を維持していくために、各器官が、どのように働いているか理解する。	
	【予習】人体の構造と機能について医学一般の授業で使用したテキスト・授業時のノートから振り返る。理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第10回	領域：こころとからだのしくみ 人体の構造や機能と生活行為がどのように運動しているか理解する。生活行為・動作に関する基本的な知識を知り、生活支援技術に關ず仕組みを理解する。	
	【予習】人体のしくみから様々な生活行為を関連させておく。姿勢・移動動作、入浴・清潔動作、身支度の動作、食神關する動作、睡眠などの基本的な知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見る。また、理解不足のところや苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分

第11回	領域：人間と社会 社会の理解 介護保険制度、社会保障制度のしくみ、個人を守る制度、障害者総合支援法など制度のしくみとサービスの内容等社会福祉の基本的な部分を理解する。	
	【予習】社会福祉の歴史、介護保険制度のしくみ、障害者自立支援、総合支援法のしくみ、日本の社会保障制度等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	0分
第12回	領域：こころとからだのしくみ 認知症の理解 認知症を取り巻く状況、医学的側面からの認知症（中核症状・BPSD・周辺症状）、認知症ケアについて正しく理解する。	
	【予習】認知症の原因疾患の症状・特徴、認知症による障害を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	0分
第13回	領域：こころとからだのしくみ 障害の理解と発達と老化のしくみ 障害の概念 障害者福祉の基本理念、障害の医学的側面を含めた基礎的な知識を理解する。人の成長・発達について理解する。高齢者に多い疾患と症状の現れ方について分かる。老化について生活への影響を、心理的・社会的・生理的側面からとらえ基礎的な知識を理解する。	
	【予習】障害者福祉法、ノーマライゼーションの意義・歴史的経緯、障害の医学的側面御基礎的知識（身体機能意障害・内部障害・視覚聴覚障害・言語障害）、障害者の心理的側面等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る。発達課題、老化のメカニズム等テキストや資料で振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分
第14回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分
第15回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	各領域の科目について基本的な知識を十分に理解し、解答を記述できる。	各領域の科目について基本的な知識を理解でき、解答を記述できる	各領域の科目について基本的な知識をある程度(7割)解答を記述できる	各領域の科目について基本的な知識を多少覚えている(6割)が、十分に記述できない。	各領域の科目について基本的な知識を殆ど覚えておらず、十分に記述できない。
LO-2	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、調べる・復習する・質問する・など自己の学習に積極的に取り組むことができる。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、調べる・復習することで自己の学習に取り組むことができる。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、調べ自己の学習に取り組むことができる。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、多少調べて自己の学習に取り組むことができる。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、十分に自己の学習に取り組めない。
LO-3	具体的な事例を基に応用問題の学習を積み重ね、十分に理解でき、解答を記述できる。	具体的な事例を基に応用問題の学習を積み重ね、解答を記述できる。	具体的な事例を基に応用問題の学習を行い解答を(7割)記述できる。	具体的な事例を基に応用問題の学習を多少行い解答を(6割)記述できる。	具体的な事例を基に応用問題の学習殆ど行わず、十分に記述できない。
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(9割以上)が取得できる。	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(8割以上)が取得できる。	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(7割以上)が取得できる。	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(6割以上)が取得できる。	授業で行う練習試験、模擬試験では合格点(6割以上)が取得できない。
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させ成果を上げることができた。	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲が向上できた。	友人間でお互いの学習内容を確認し合えた。	友人間でお互いの学習内容を多少確認し合えた。	友人間でお互いの学習内容を確認することができない。

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W181-31				
科目区分	専門科目 - キャリア	担当教員名	石橋 郁子						
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護福祉総合演習	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験(基礎編・実力編)を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習できる。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験 3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護) 外部模擬試験								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト 配布資料 して学ぶ。(平成25年介護福祉士国家試験対応問題集及びワークブックから選定)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解する。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4									
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上する。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	40								40
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他Aについては、意見発表、グループワークでの活動などに点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期学習の進め方・自己学習、外部模擬試験、直前学習について理解できる。前期外部の模試結果を参考に自己の学習課題を設定し、自主学習の計画を立てる。	
	【予習】前期に購入した問題集及びテキストから苦手な科目を見直す。	90分
	【復習】自己の学習計画を見直し、計画した科目の問題に取り組む	90分
第2回	領域：こころとからだのしくみ：発達と老化の理解 過去の問題から難易度が高い問題に取り組む。発達の定義と人物について理解する	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。 人間関係とコミュニケーション【11】～【15】 人間関係とコミュニケーション【16】～【20】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する コミュニケーション技術【111】～【115】 コミュニケーション技術【116】～【120】	90分
第3回	領域：介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。練習問題に取り組む。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて前期から理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る コミュニケーション技術【126】～【130】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第4回	領域：人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。難易度が高い問題や惑わされやすい問題への対応がわかり、練習問題に取り組む	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域：こころとからだのしくみ みじたく・移動・食事に関連したこころとからだのしくみを理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手とする問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域：こころとからだのしくみ 入浴・排せつ・睡眠・ターミナルに関連した、こころとからだのしくみについて理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手な問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第7回	領域：こころとからだのしくみ認知症の理解 医学的に見た認知症の基礎・認知症に伴う心とからだの変化について理解する。過去の問題で、難易度が高い問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第8回	領域：心とからだのしくみ 障害の理解 身体、精神、知的、発達障害、難病について障害の特性、障害の受容や適応機制、障害が及ぼす心理的影響、日常生活への影響について理解する。難易度の高い問題、苦手とする問題の対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	0分
第9回	領域：介護生活支援技術 生活の理解・生活支援について理解する。自立に向けた居住環境・みじたく・移動・食事・入浴と清潔保持・家事・睡眠・終末期の介護について分かる。難易度の高い問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第10回	領域：社会の理解 社会保障制度の発達、日本の社会保障制度のしくみ(社会保険と社会扶助)について理解する。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分

第11回	領域：社会の理解 介護保険制度（介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度のしくみ、介護サービスの利用までの流れ、居宅・介護予防サービス、地域密着型サービス、介護支援員専門員の役割について理解する。障害者総合支援法、生活保護制度について分かる。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第12回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第13回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第14回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り合格点がとれるよう試験に臨む	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第15回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り試験に向けて計画的に進めていく。	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	各領域の科目について基本的な知識を十分に理解し、解答を記述する。	各領域の科目について基本的な知識を理解でき、解答を記述する	各領域の科目について基本的な知識をある程度(7割)解答を記述する	各領域の科目について基本的な知識を多少覚えている(6割)が、十分に記述しい。	各領域の科目について基本的な知識を殆ど覚えておらず、十分に記述しない。
LO-2	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、調べる・復習する・質問する・など自己の学習に積極的に取り組む。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、調べる・復習することで自己の学習に取り組む。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、調べ自己の学習に取り組む。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、多少調べて自己の学習に取り組むことができる。	理解が不十分なところ、苦手とする科目について、十分に自己の学習に取り組まない。
LO-3	具体的な事例を基に応用問題の学習を積み重ね、十分に理解でき、解答を記述する。	具体的な事例を基に応用問題の学習を積み重ね、解答を記述する。	具体的な事例を基に応用問題の学習を行い解答を(7割)記述する。	具体的な事例を基に応用問題の学習を多少行い解答を(6割)記述する。	具体的な事例を基に応用問題の学習殆ど行わず、十分に記述しない。
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(9割以上)が取得する。	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(8割以上)が取得する。	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(7割以上)が取得する。	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点(6割以上)が取得する。	授業で行う練習試験、模擬試験では合格点(6割以上)が取得しない。
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させ成果を上げる。	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲が向上する。	友人間でお互いの学習内容を確認する。	友人間でお互いの学習内容を多少確認し合う。	友人間でお互いの学習内容を確認しない。

授業科目名	総合的研究			科目コード	W191-10				
科目区分	専門科目 - 研究		担当教員名	吉牟田 裕					
開講時期	1年後期・2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第16回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第17回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第18回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第19回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第20回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第21回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第22回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第23回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第24回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第25回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第26回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第27回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第28回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第29回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第30回		
	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	現代社会と福祉			科目コード	W511-10				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博 野村 幸伸 彼谷 環 柴田 怜					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士、医療事務、介護事務								
授業の概要	学内の教員や学園内の教員、ならびに外部の非常勤講師を交えたオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	学科の特徴である3つの学び（介護福祉分野、ソーシャルワーク分野、福祉ビジネス分野）の導入科目に位置づけ、今日の社会保障や社会福祉の動向、ならびに経済情勢、そして社会福祉士をはじめとするソーシャルワークの専門性などを紹介することで、その後の学習に結びつける。								
キーワード	相談援助、ケアワーク、シニアビジネス、								
テキスト・ 参考書等	瀬野隆・矢崎隆夫・胡東寧・柴田怜『新現代経済政策論 平等論と所得格差』成文堂、2013年 第2～8回で使用。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	今日の日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く環境を理解するとともに、その背景にも理解を深める。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30			15	15		100
LO-1	40		30						70
LO-2									
LO-3									
LO-4						15	15		30
LO-5									
備考	担当教員から課題レポートを課すことを基本とする。 ウェブシラバスを経た質問に対しては個別に返答する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	貧困と格差の指標を学習する。	
	【予習】ローレンツ曲線、およびジニ係数の概念について予習すること。	60分
	【復習】講義で示した数式を参考に各自で数値を変更させてローレンツ曲線、およびジニ係数の変化について復習すること。 参考資料	30分
第2回	NHK・クローズアップ現代「あしたが見えない～深刻化する“若年女性”の貧困～」を視聴する 25.10.07読売新聞（社会保障）	
	【予習】貧困の定義とは何かについて、調査しておくこと。	60分
	【復習】貧困層へのセーフティネットは、どのような手段が考えられるか。	30分
第3回	平等と不平等とは何か。	
	【予習】拙著『新現代経済政策論 平等論と所得格差』第1章・第1節、第2章・第2節、同・第4節の内容を熟読しておくこと。	60分
	【復習】異なる2つ以上の政策を実行する際、その判断基準はどこに置くべきか。	30分
第4回	年齢別、性別の賃金格差と雇用体系の変化について学習する。 参考資料01	
	【予習】賃金格差の弊害について、どのようなことが想定されるか。	60分
	【復習】非正規雇用の賃金引上げについて、短期的メリットと長期的リスクを考えよ。	30分
第5回	若年層の貧困問題について考える。 NHK・クローズアップ現代「おなかいっぱい食べたい～緊急調査・子どもの貧困～」を視聴する。	
	【予習】子どもの貧困の根源について考えること。	60分
	【復習】子どもの貧困に有効な対策について考えること。	30分
第6回	子どもの貧困問題について考える。 25.08.19読売新聞（子どもの貧困）	
	【予習】世帯所得と教育水準の因果関係について考えておくこと。	60分
	【復習】貧困世帯において教育と就職の選択は、どうあるべきか。	30分
第7回	正規雇用への転換か最低賃金の見直しか。 25.08.19正社員転換制度	
	【予習】最低賃金制度と生活保護制度の問題点について考えておくこと。 若年層の失業問題と高齢者の再雇用について考えておくこと。	60分
	【復習】貧困層で生活する子どもたちの適切な救済措置とは何か。 個人金融資産多くは高齢者が保有している。この利用方法について、各自で考えること。	30分
第8回	「朝日訴訟」から日本の福祉政策を考える	
	【予習】ネットで憲法の関連条文を読んでおく。	60分
	【復習】条文とその性格を現すキーワードを対にして覚える。	30分
第9回	待機児童問題を考える	
	【予習】前回の授業で指定された条文に目を通してくる。	60分
	【復習】憲法の条文に該当する法律を覚える。	30分
第10回		
	【予習】	60分
	【復習】	30分

第11回	【予習】	60分
	【復習】	30分
第12回	【予習】	60分
	【復習】	30分
第13回	介護保険事業所の管理運営	
	【予習】 介護保険事業所にはどのような種類があるか、ネットやテキストで確認しておく。	60分
	【復習】 Webシラバス上の授業アンケートに必要な内容を回答する。	30分
第14回	目指すべき専門職像とキャリア形成について	
	【予習】 キャリア形成に関する制度（介護段位など）について調べておく。	60分
	【復習】 Webシラバスの授業アンケートに回答する。	30分
第15回	福祉サービスと福祉行政の関わり	
	【予習】 地元の市役所や役場の福祉行政のセクションについて調べておく。	60分
	【復習】 地元の行政計画をネットから調べておく。	30分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	今日の日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く環境に理解を示すとともに、その背景にも十分な理解がある。	今日の日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く環境に一定程度の理解を示すとともに、その背景にも理解がある。	今日の日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く環境に少しは理解を示すとともに、その背景にも何らかの理解がある。	今日の日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く環境への理解があまりなく、その背景も十分には理解できていない。	今日の日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く環境への理解がほとんどなく、その背景も全然理解できていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4	授業アンケートに、その日の内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが十分に記入してある。積極的に授業に参加している。	授業アンケートに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが一定程度は記入してある。授業態度もある程度は積極性が見られる。	授業アンケートに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが多少は少ししてある。授業態度も多少は参加姿勢が見られる。	授業アンケートへの、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが不足している。授業態度もあまり評価できない。	授業アンケートへの、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが全然なされていない。授業態度もよろしくない。
LO-5					

授業科目名	生活と社会			科目コード	W511-20				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博 樋口 康彦					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	コミュニケーション論、現代社会と人間								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格(必修)								
授業の概要	家族あるいは地域社会が個人とどのようにつながっているのかを学びます。また、私たちが参加する組織や集団との関わりを考え、社会の中での個人を理解できることを目指します。そして、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などからも社会全体を捉えられるよう、演習を交えて進めていきます。								
学習目標	1 個人の暮らしと生活の在り方の意義、理念を理解する。 2 個人と家族、個人と地域、個人と社会の関係性を理解する。 3 自助、公助、共助の内容を理解する。								
キーワード	生活、家族、地域社会、社会・組織、ライフスタイル								
テキスト・ 参考書等	高橋信幸他編 新・介護福祉士養成講座「2 社会と制度の理解」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会学における用語を理解し、使いこなせるようになる。(地域)社会・生活・家族などといった社会生活を構成する要素と自分の生活を引き合わせて理解することができる。介護福祉士として、社会全般を捉えられるようになる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	授業アンケートにその日の授業内容を正しく振り返ることができる。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3									
LO-4						30			30
LO-5									
備考	「その他A」は、受講カードへの取り組みや書込み内容を参酌して評価を与えます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活と福祉(1) 人と生活、生活の構成要素	
	【予習】テキスト第1章の第1節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】生活の要素と構造について、自分の生活に引き合わせてふり返しをしておく。	90分
第2回	生活と福祉(2) 家族の定義、家族構造と形態、家族の機能と役割	
	【予習】テキスト第1章の第2節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】家族の多様な機能や役割から、家族の定義を試みる。	90分
第3回	生活と福祉(3) 多様化する家族と家族観	
	【予習】テキスト第1章の第2節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】自分の家族の生活と家族の個人化の現象について考えてみる。	90分
第4回	生活と福祉(4) 地域に暮らす個人、地域社会の集団と組織	
	【予習】テキスト第1章の第3節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】自分が住んでいる町内の自治会活動について、家族から聞き取りをする。	90分
第5回	生活と福祉(5) 変貌する地域社会	
	【予習】テキスト第1章の第3節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】自分が住んでいる地域の都市化あるいは過疎化について、行政のホームページを元に人口や世帯数の変化などを調べてみる。	90分
第6回	生活と福祉(6) 「社会」の捉え方、社会と組織、新しい人的ネットワーク	
	【予習】テキスト第1章の第4節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】富山県民ボランティア総合支援センターのホームページから、県内で活動する特定非営利活動法人の様子と法人認証の流れなどを把握する。	90分
第7回	生活と福祉(7) 労働環境と家庭、	
	【予習】テキスト第1章の第5節 を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】厚生労働省のホームページで、厚生労働白書に書かれてある女性の社会進出や産業化の実態を各自で確認しておく。	90分
第8回	生活と福祉(8) 少子化と高齢化 少子化	
	【予習】テキスト第1章の第5節 「少子化」を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】厚生労働省のホームページで、子ども・子育て白書の関連ページを各自で確認しておく。	90分
第9回	生活と福祉(9) 少子化と高齢化 高齢化	
	【予習】テキスト第1章の第5節 「高齢化」を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】厚生労働省のホームページで、高齢社会白書の関連ページを各自で確認しておく。	90分
第10回	生活と福祉(10) 地域社会とライフスタイル、(11) 社会福祉と社会保障、社会福祉と福祉サービスの理念、社会福祉の法制度と実施体制、自助・共助・公助のバランスと福祉の多元化	
	【予習】テキスト第1章の第5節 と第6節を読んで、初出の用語や知らない語句を自分で調べておくこと。	90分
	【復習】テキストに出てくるいくつかの調査結果について、各自でホームページなどで調べておく。	90分

第11回	老年期における生活と心理。老年期における心理的な変化について。老年期における心理の変化により生活はどのように変わっていくのか。	
	【予習】老年期における性格の変化について調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第12回	老年期における生活と心理。老年期における身体的変化と社会的関係の変化。高齢者の生活満足度。	
	【予習】老年期におけるQOLについて調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第13回	家族の機能。家族観の変遷。家族の各発達段階における課題と危機。家族と地域、家族と社会のかかわりについて。	
	【予習】家族のライフサイクルについて調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第14回	自殺について。自殺の国際比較。自殺しやすい人の特徴。自殺と福祉。	
	【予習】各国の自殺率について調べる。	90分
	【復習】授業で配ったプリントの内容を復習する。	90分
第15回	犯罪について。犯罪と社会。犯罪と福祉。総まとめと、定期試験に向けての勉強のポイントの解説。	
	【予習】犯罪者の処遇について調べる。テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	90分
	【復習】今回の授業で配ったプリントの内容を復習する。これまでの授業を振り返り、章ごとに重要点をまとめる。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	家族、社会ならびに地域社会と個人と個人との関わり、組織や集団との関わり、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などについて十分な知識と	家族、社会ならびに地域社会と個人と個人との関わり、組織や集団との関わり、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などについての理解と知識	家族、社会ならびに地域社会と個人と個人との関わり、組織や集団との関わり、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などについて、ある程度の	家族、社会ならびに地域社会と個人と個人との関わり、組織や集団との関わり、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などについて、多少の知識	家族、社会ならびに地域社会と個人と個人との関わり、組織や集団との関わり、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などの知識と理解が不足し
LO-2					
LO-3					
LO-4	授業アンケートに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが十分に記入してある。	授業アンケートに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが一定程度は記入してある。	授業アンケートに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが多少は少ししてある。	授業アンケートに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが不足している。	授業アンケートに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが全然なされていない。
LO-5					

授業科目名	生活と情報			科目コード	W511-30				
科目区分	教養科目 - 人間と社会	担当教員名	吉牟田 裕						
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	社会福祉調査論						
関連科目	福祉と情報								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「繰り返して慣れる！スピードマスター Office 2007 & 情報モラル」 noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、パソコン教室の使い方、タッチタイピング Google Chrome のダウンロード	
	【予習】	0分
	【復習】 タッチタイピングの練習	45分
第2回	パソコンを起動しよう	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ウィンドウの操作を復習する	25分
第3回	基本編 Word チラシを作成しましょう 次の「説明動画」にアクセスし、お気に入りに登録してください。	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	ワープロの基礎	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	文書の作成の基本	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 文書の作成を完了する	25分
第6回	社外文書の作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	インターネットの活用	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成	
	【予習】 教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】 表計算の課題を完成させる	25分

第11回	プレゼンテーションの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	プレゼンテーションの作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	情報のセキュリティ 被害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	情報モラル 加害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識が十分に身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識が身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識がおおむね身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識がある程度身についている	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につけていない
LO-2	パソコンにより、極めて効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、おおむね効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、ある程度効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる	パソコンにより、ドキュメント・スプレッドシート作成、プレゼンテーションができない
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	コミュニケーション論			科目コード	W511-40				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 石橋 郁子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要									
学習目標									
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
LO-									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第2回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第3回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第4回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第5回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回	【予習】	分
	【復習】	分
第12回	【予習】	分
	【復習】	分
第13回	【予習】	分
	【復習】	分
第14回	【予習】	分
	【復習】	分
第15回	【予習】	分
	【復習】	分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					
LO-					

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W511-50				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	ボランティア・市民活動論、地域福祉論					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	テキストを毎回1章ごと進めていながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用し、前期末試験の最終日まで3回以上を努力目標として課します。								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	小倉常明他編 「いちばんはじめのボランティア」 樹村房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	演習課題での意見発表を、誠実におこなうことができる。								
LO-3	与えられた演習課題について積極的に取り組み、テーマに基づいた自分なりの解答を導きだすことができる。								
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70		15	15			100
LO-1			40						40
LO-2					15				15
LO-3			30						30
LO-4						15			15
LO-5									
備考	LO-1のレポートは、期末試験に替えて授業での学びを4回分、所定の様式で提出してもらうものです。LO-3のレポートは、期末レポートに合わせてボランティア体験3回分の感想を出してもらうものです。LO-3の成果発表は、授業での演習に対する取り組みと発表に対する評価です。LO-4は毎回の受講カードに対する評価です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や関連用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	90分
第2回	ボランティア活動の理念について理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】ボランティア手帳で最近のボランティア活動の傾向を調べてみる。	90分
第3回	ボランティア活動の法と制度について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】赤い羽根共同募金のホームページやその他の募金活動のホームページを探し、それぞれの趣旨や目的などを把握しておく。	90分
第4回	障害者スポーツ大会の事前説明	
	【予習】プログラムを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】障害者スポーツについて調べておく。	90分
第5回	障害者スポーツ大会での補助役員	
	【予習】役割分担に目を通してくる。	90分
	【復習】障害のあるスリートとの交流を振り返る。	90分
第6回	富山県障害者スポーツ大会の補助役員	
	【予習】事前研修で配布のあった資料を熟読し、当日の動きを把握しておく。	90分
	【復習】自分の役割をまとめておく。	90分
第7回	富山県障害者スポーツ大会の運営補助スタッフとしての参加(2)	
	【予習】事前研修で配布のあった資料を熟読し、当日の動きを把握しておく。	90分
	【復習】参加者と積極的に交流できたか振り返りながら、感想をまとめておく。	90分
第8回	特定非営利活動促進法、NPO法人、赤い羽根共同募金、社協とボランティアセンター、ボランティア保険、ボランティア表彰制度について学ぶ。	
	【予習】県内のNPO法人についてインターネットで調べてくる。	90分
	【復習】ボランティアを取り巻く制度や組織に対して理解を深める。	90分
第9回	ボランティア活動の担い手について理解する。	
	【予習】テキスト第5章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】地元や県の社会福祉協議会、さらには県民ボランティア総合支援センターのホームページで、どのような団体がどのような目的で活動しているかを把握する。	90分
第10回	福祉施設とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキスト第7章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】施設にボランティアに行った際には、どのような職員が担当し、どのような受入がなされ、ほかにどんな活動を受け入れているかなどをできるだけ見てくる。	90分

第11回	献血とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 Webボラ手帳の献血ルームのコミュニティを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 献血の意義を思い返し、ボランティアとしての意味づけを試みる。	90分
第12回	災害支援とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第9章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 東日本大震災や阪神淡路大震災など、これまでの災害救援ボランティア活動の様子を、本やインターネットで確認しておく。	90分
第13回	企業の地域貢献とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第10章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 インターネット検索で、どんな企業がどのような社会貢献活動に取組んでいるかを各自で調べる。	90分
第14回	地域社会とボランティア活動の関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第6章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 地元の社会福祉協議会が取組んでいる小地域福祉活動（ふれあいいきいきサロンほか）について、社協の広報誌やホームページで調べておく。	90分
第15回	ボランティアコーディネーターとボランティアの関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第13章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 日本ボランティアコーディネーター協会のホームページを参照し、ボランティアコーディネーターに求められることについて思いを深める。	90分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	各回の授業を集中して受講し、内容を正しく理解したうえで自分の学びや感想が十分書けている。	各回の授業をしっかりと受講し、内容を一定程度は理解したうえで自分の学びや感想が書けている。	各回の授業をまじめに受講し、内容を多少は理解したうえで自分の学びや感想がある程度は書けている。	各回の授業を受講してはいるが、内容の理解が十分ではなく、自分の学びや感想があまり書けていない。	各回の授業態度もよくなく、内容の理解に間違いがみられ、自分の学びや感想もほとんど書けていない。
LO-2	毎回の授業で取組む演習をまじめにこなし、発表態度も十分に積極的である。	毎回の授業で取組む演習を一応すべてこなし、発表態度もそれなりに誠実である。	毎回の授業で取組む演習をこなしているようだが、発表態度に積極性があまり見られない。	毎回の授業で取組む演習も十分に考えておらず、発表態度もその結果として積極性が見られない。	毎回の授業で取組む演習にきちんと向き合わず、発表態度もおろそかである。
LO-3	ボランティア体験に3回以上参加し、それぞれの感想が所定の様式の元でちゃんと書いている。	ボランティア体験に3回以上参加し、それぞれの感想が所定の様式の元でだいたい書いている。	ボランティア体験に3回以上参加しているが、それぞれの感想が少し浅い。	ボランティア体験に3回以上参加しているが、それぞれの感想が不十分である。	ボランティア体験に3回以上参加しているが、3回分の感想が書いてない。
LO-4	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが十分に記入してある。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが一定程度は記入してある。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが多少は少ししある。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが不足している。	毎回の受講カードに、その日の授業内容のまとめや疑問、感想など、ふり返りが全然なされていない。
LO-5					

授業科目名	人間の尊厳と自立			科目コード	W511-60				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	盛永 審一郎					
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	コミュニケーション論、生活と社会		後継科目	なし					
関連科目	社会保障								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎を学びます。								
学習目標	1. 人間の尊厳と自立の意味と意義を理解する。 2. 人権の歴史や基本的人権の概念を理解する。 3. 多様な価値観・人生観を理解し、寛容の精神を培う。 4. 介護場面における倫理的課題を理解する。								
キーワード	人間の尊厳、基本的人権、自立・自律、倫理、権利擁護								
テキスト・ 参考書等	白澤政数編 介護福祉士養成テキストブック1 『人間の尊厳と自立』 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の尊厳、自立、人権の概念の歴史、意味、意義に関する知識を有する。								
LO-2									
LO-3	人間の多様な価値観、文化を理解し、寛容の精神を培い、介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を有する。								
LO-4	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を有する。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50	30			20			100
LO-1		50							50
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他 A については、ビデオを視聴しての感想、グループワークでの活動などに点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講義におけるガイダンス、評価の説明 人間の尊厳と自立 「第1章 人間に対する価値観」 1, 2 テキストP1~12。介護福祉士とクライアントについて学ぶ	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。	90分
	【復習】P21の練習課題2, 3について考える。	90分
第2回	人間の尊厳と自立 「第1章 人間に対する価値観」 3, 4 テキストP13~21	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。テキスト事例1と2を読み自分の意見をまとめておく。	90分
	【復習】P21の練習課題1について考える。	90分
第3回	人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持、1人間の尊厳、テキストP24~27	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。ケーススタディ(P45)を読んで、問題点は何か、どうすればよいのだろうか考えてくる。	90分
	【復習】P50の演習問題2について考える。	90分
第4回	人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳2生命倫理の4原則その1 1自律尊重原則、2善行原則、テキストP28~31	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。近代第一の哲学者カントについて調べてみる。	90分
	【復習】P50の演習問題1について考える。	90分
第5回	人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持、2生命倫理の4原則その1 3無危害原則、4公正、平等原則、テキストP31~33	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。SOLとQOLの概念について復習する。	60分
	【復習】P50の演習問題3について考える。	90分
第6回	人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持、3 徳倫理、4尊厳と「自律」・「自立」、テキストP34~36	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる。分からない語句は調べてくる。自律と自立の相違について考えてみる。	90分
	【復習】トリアージについて、正義概念を用いて各自考える。	90分
第7回	人間の尊厳と自立 第2章人間の尊厳の保持 5 SOLとQOL, 6日常ケアにおける尊厳、7尊厳を保持するために、8ケーススタディ、テキストP37~51	
	【予習】P45のケーススタディについて、4原則を当てはめて、考えてみる。	90分
	【復習】終末期医療について、各自尊厳の保持を念頭に、考えてみる。	90分
第8回	人間の尊厳と自立 第3章 介護福祉士の倫理と専門職規定、テキストP52~67	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。	90分
	【復習】P64~65の演習課題について考える。	90分
第9回	人間の尊厳と自立 第4章尊厳保持への介護福祉士の対応、テキストP68~89	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。	90分
	【復習】P87の演習問題と取り組む。	90分
第10回	人間の尊厳と自立 第5章自立の意味、テキストP90~107	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。	90分
	【復習】P107の演習問題と取り組む。	90分

第11回	人間の尊厳と自立 第6章自立支援の視点と方法、テキストP110～129	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。	90分
	【復習】P129の演習問題と取り組む。	90分
第12回	人間の尊厳と自立 第7章 尊厳を維持した介護事例、1 施設における尊厳ある看取りの実践、テキストP132～144	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べてくる。	90分
	【復習】ターミナルケアの事例を通して、「人間の尊厳の保持」をもう一度各自で考える。	90分
第13回	人間の尊厳と自立 第7章尊厳を維持した介護事例 2認知症の人の尊厳を維持した介護、テキストP145～154	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べておく。	90分
	【復習】P145～168のALS患者のAかBのどちらかの事例について各自考え、レポートを書き、15回に提出する。	90分
第14回	人間の尊厳と自立 第8章 自立を支援する介護事例、1在宅生活の実現に向けたリハビリ、介護実践、2その人らしさを大切にできるケア、テキストP172～190	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。分からない語句は調べておく。	90分
	【復習】その人らしさを大切にできるケアとはなにかまとめる。	90分
第15回	まとめと小テスト。	
	【予習】これまで学習してきた内容でわからない箇所、理解不足の箇所を把握すること	90分
	【復習】これまで学習してきた内容をすべて復習し、小テストをうけ、さらにレポートを提出すること	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人権の歴史や基本的人権の概念、人間の尊厳と自立の意義に関する知識を十分有する。	人権の歴史や基本的人権の概念、人間の尊厳と自立の意義に関する知識を有する。	人権の歴史や基本的人権の概念、人間の尊厳と自立の意義に関する知識をある程度有する。	人権の歴史や基本的人権の概念、人間の尊厳と自立の意義に関する知識を多少有する。	人権の歴史や基本的人権の概念、人間の尊厳と自立の意義に関する知識がない。
LO-2					
LO-3	介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を十分有する。	介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を有する。	介護場面における倫理的課題を解決できる判断力をある程度有する。	介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を多少有する。	介護場面における倫理的課題を解決できる判断力がない。
LO-4	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を十分有する。	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を有する。	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢をある程度有する。	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を多少有する。	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢がない。
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を十分に身につけている。	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけている。	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢をある程度身につけている。	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を多少身につけている。	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけていない。

授業科目名	レクリエーション概論			科目コード	W511-70				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	岩上 厚子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	特になし		後継科目	レクリエーション活動援助法					
関連科目									
資格等 取得との関連	レクリエーション・インストラクター指定科目								
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの意義、歴史、制度について理解を深め、レクリエーション支援者としての役割を確認します。 ・現代社会の課題を確認し、レクリエーションが必要とされる具体的な場面について理解を深めます。 ・地域社会の課題に向けた活動を計画・企画します。 								
学習目標	現代社会が抱える課題を確認し、支援が必要とされる場面について理解を深めること。また、楽しさを原動力とした事業について学習し、レクリエーション支援者として主体的に活動を起こすノウハウを身につけることができるようになること。								
キーワード	A-PEIプロセス、介護予防、ライフステージ、地域づくり、生活の快								
テキスト・ 参考書等	川村皓章編集「レクリエーション支援の基礎」 日本レクリエーション協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢を理解し、自分がどんな支援者になるのかという見通しが持てるようになること。								
LO-2	市民対象の事業の企画、準備から、実施、評価までのプロセスを理解し、計画を立てることができること。								
LO-3	支援の対象者、領域の状況、課題を理解し、社会的課題に向けたレクリエーション支援のあり方を考察することができること。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	30								30
LO-2			20						20
LO-3	30					20			50
LO-4									
LO-5									
備考	主に講義形式で行いますが、グループワークも取り入れていきます。能動的な態度で臨みましょう。Aはグループワークへの取り組み度です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レクリエーションの基礎理論(1) レクリエーションの意義	
	【予習】レクリエーションのイメージをまとめておく。	30分
	【復習】教科書 基礎理論の第1章を読む。	30分
第2回	レクリエーションの基礎理論(2) レクリエーション運動の歴史	
	【予習】	0分
	【復習】日本の戦後のレクリエーション運動をまとめ、レクリエーションのイメージがどう変わったか確認する。	60分
第3回	レクリエーションの基礎理論(3) 現代社会の課題とレクリエーション	
	【予習】新聞などを読み、現代社会の課題をまとめる。	90分
	【復習】	0分
第4回	レクリエーション支援論(1) レクリエーション支援とは	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	レクリエーション支援論(2) レクリエーション支援者の役割	
	【予習】HPにアクセスし、レクリエーション組織や制度について調べる。	90分
	【復習】地域や施設の行事に参加し、支援者の役割についてまとめる。	90分
第6回	レクリエーション支援論(3) 少子高齢社会とレクリエーション	
	【予習】高齢者施設や地域のレクリエーション行事に参加し、支援の方法について体験する。	120分
	【復習】	0分
第7回	レクリエーション支援論(4) 地域とレクリエーション	
	【予習】自分の住む地域にはどんな課題があるか調べる。	60分
	【復習】地域のレクリエーション行事に参加し支援の方法について体験する。	120分
第8回	レクリエーション事業論(1) 事業計画	
	【予習】グループ毎でまとめを行う。そのための準備。	90分
	【復習】	0分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢を十分理解し、自分がどんな支援者になるのかという見通しを持つことができる。	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢をおおよそ理解し、自分がどんな支援者になるのかという見通しを持つことができる。	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢をある程度理解し、自分がどんな支援者になるのかという見通しを持つことができる。	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢を多少理解し、自分がどんな支援者になるのかという見通しを持つことができる。	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢を理解がなく、自分がどんな支援者になるのかという見通しが持てない。
LO-2	市民対象の事業の企画、準備から、実施、評価までのプロセスを十分理解し、計画を立てることができる。	市民対象の事業の企画、準備から、実施、評価までのプロセスをほぼ理解し、計画を立てることができる。	市民対象の事業の企画、準備から、実施、評価までのプロセスをある程度理解し、計画を立てることができる。	市民対象の事業の企画、準備から、実施、評価までのプロセスを多少理解し、計画を立てることができる。	市民対象の事業の企画、準備から、実施、評価までのプロセスの理解がなく、計画を立てることができない。
LO-3	支援の対象者、領域の状況、課題を十分理解し、社会的課題に向けたレクリエーション支援のあり方を考察できる。	支援の対象者、領域の状況、課題をほぼ理解し、社会的課題に向けたレクリエーション支援のあり方を考察できる。	支援の対象者、領域の状況、課題をある程度理解し、社会的課題に向けたレクリエーション支援のあり方を考察できる。	支援の対象者、領域の状況、課題を多少理解し、社会的課題に向けたレクリエーション支援のあり方を多少考察できる。	支援の対象者、領域の状況、課題を理解がなく、社会的課題に向けたレクリエーション支援のあり方が考察できない。
LO-4					
LO-5					

授業科目名	レクリエーション活動援助法			科目コード	W511-71				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	岩上 厚子					
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	レクリエーション概論		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	レクリエーション・インストラクター指定科目								
授業の概要	福祉分野において実際に援助者になった場合を想定し、具体的な援助技術の習得を目指します。単発的なレクリエーション財の獲得のみを目的とするのではなく、企画、立案の方法、財の選択・アレンジ・提供の方法などを演習と講義を組み合わせで行います。								
学習目標	個人や集団とのコミュニケーション能力、集団の中でのコミュニケーション促進方法を身につけ、アクティビティの選択方法、展開方法、相互作用の引き出し方と活用方法について学習し、対象者に合わせたレクリエーション財をアレンジできるようになること。								
キーワード	生活の快、アイスブレーキング、ホスピタリティトレーニング、CSSプロセス、フロー理論								
テキスト・ 参考書等	川村皓章編集「レクリエーション支援の基礎」 日本レクリエーション協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	CSSプロセスの重要性を理解し、反応の捉え方、伝え方などの技法を身に付けていること。								
LO-2	A-PIEプロセスの手順を理解し支援計画を立てることができること。								
LO-3	実際にアレンジした素材・アクティビティを展開する際に、相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークを活用できること。								
LO-4									
LO-5	対象者との良好なコミュニケーションに不可欠な支援者の姿勢・態度・行動について理解し、対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りができること。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		80				100
LO-1					30				30
LO-2			20						20
LO-3					30				30
LO-4									
LO-5					20				20
備考	授業で体験できるレク財は限られています。積極的に現場実習に出かけ理論と実技を基にした「展開法」を学びましょう。詳細は、掲示板のポスターなどでお知らせします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	コミュニケーション・ワーク (ホスピタリティとは)	
	【予習】テキストの「レクリエーションにおけるホスピタリティとは」をよく読んでおく。	60分
	【復習】	0分
第2回	コミュニケーション・ワーク (ホスピタリティの示し方)	
	【予習】	0分
	【復習】「ゲームでホスピタリティ」を体験してみて気づきをまとめる。	60分
第3回	コミュニケーション・ワーク (アイスブレイキングの意義と基本技術)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	コミュニケーション・ワーク (アイスブレイキングのプログラミング)	
	【予習】	0分
	【復習】アイスブレイキングの展開法を具体的に書き出す。	60分
第5回	目的に合わせたレクリエーション・ワーク 身近な素材を使ったカードづくり	
	【予習】日頃からカードづくりに必要な素材を収集しておく。	90分
	【復習】	0分
第6回	目的に合わせたレクリエーション・ワーク 身近な素材を使ったカードづくり	
	【予習】	0分
	【復習】カードの使い方、アレンジ法をまとめる。	30分
第7回	目的に合わせたレクリエーション・ワーク 地域づくりと回想法	
	【予習】インターネットなどで回想法について調べる。	60分
	【復習】	0分
第8回	対象に合わせたレクリエーション・ワーク ジャンボすごろくの作成	
	【予習】ジャンボすごろくづくりの準備(テーマを決める)	30分
	【復習】	0分
第9回	対象に合わせたレクリエーション・ワーク ジャンボすごろくの作成	
	【予習】ジャンボすごろくの仕上げ	30分
	【復習】	0分
第10回	演習1-1 活動領域に合わせたアクティビティの体験	
	【予習】	0分
	【復習】ハードル設定、CSSプロセスのキーワードをまとめる。	60分

第11回	演習1 - 2 活動領域に合わせたアクティビティの体験	
	【予習】	0分
	【復習】地域のレクリエーション行事やレクリエーション協会の事業に参加する。	120分
第12回	演習2 - 1 指導演習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	演習2 - 2 指導演習 A-PIEプロセスに沿った支援計画	
	【予習】テキストからA-PIEプロセスについて調べる。	60分
	【復習】健康体操の復習	60分
第14回	演習2 - 3 指導演習 健康体操（ケアピクスの理論に沿った支援）	
	【予習】	0分
	【復習】健康体操の復習（試験に向けて、キューイングを書き出す）	120分
第15回	まとめ・試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	CSSプロセスについてよく理解し、その技法を十分に使うことができる。	CSSプロセスについてほぼ理解し、その技法を使うことができる。	CSSプロセスについておおよそ理解し、その技法をある程度使うことができる。	CSSプロセスについて最低限の理解である。その技法は多少使うことができる。	CSSプロセスについて理解がなく、その技法が使えない。
LO-2	A-PIEプロセスの手順を十分理解し支援計画を立てることができる。	A-PIEプロセスの手順をほぼ理解し支援計画を立てることができる。	A-PIEプロセスの手順をある程度理解し支援計画を立てることができる。	A-PIEプロセスの手順を多少理解し不十分であるがなんとか支援計画をたてることできる。	A-PIEプロセスの手順の理解がなく支援計画が立てられない。
LO-3	相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークを十分に活用できる。	相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークをほぼ活用できる。	相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークをある程度活用できる。	相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークを多少活用できる。	相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークを活用できない。
LO-4					
LO-5	対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りが十分できる。	対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りがほぼできる。	対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りがある程度できる。	対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りが多少できる。	対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りができない。

授業科目名	運動と健康			科目コード	W531-10				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連									
授業の概要	生活環境の変化にともなって、生活習慣病の増加・体力の低下等が注目されるようになった現代社会において、特に運動不足に起因する運動不足病、また超高齢化社会の到来により生じる新たな課題への対応について、運動と健康面から生活のあり方を考える。								
学習目標	現代社会の特徴を健康面から考えるとともに、健康で豊かな生活を築き上げるために、運動がもつ意義や役割について理解する。								
キーワード	健康、運動、体力、生活習慣病、運動処方								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会の特徴を捉え、健康・体力づくりや生活習慣病の予防に対する運動の必要性を理解している。								
LO-2	生涯にわたり健康・体力を自己管理することの大切さを理解し、健康管理に関して考察することができる。								
LO-3	健康や体力に関する諸課題を発見し、考察することができる。								
LO-4	各自の健康や体力に関心をもち、学習活動に積極的に参加することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	60						100
LO-1		40							40
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、健康と体力の概念と定義	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	20分
	【復習】授業の評価方法を理解する。健康と体力の概念を理解し確認する。	30分
第2回	平均寿命の推移と健康寿命	
	【予習】寿命の変化について調べる。	30分
	【復習】平均寿命の推移と健康寿命の現状について確認する。	20分
第3回	疾病傾向からみた現代生活と健康・体力の状況	
	【予習】高度経済成長以前と以後のライフスタイルの変化について調べる。	30分
	【復習】国内の疾病の現状を理解する。	20分
第4回	体力の推移、スポーツ記録	
	【予習】スポーツ記録について調べる。	30分
	【復習】行動体力について理解を深める。	20分
第5回	健康を目的とした体力づくり	
	【予習】トレーニングの基本原則について調べる。	30分
	【復習】健康のために必要な運動処方を確認する。	20分
第6回	現代社会とスポーツ、オリンピックの歴史	
	【予習】近代オリンピックについて調べる。	30分
	【復習】オリンピックの歴史を確認する。課題の作成。	120分
第7回	これからの健康	
	【予習】予防医学について調べる。	30分
	【復習】自分の健康管理について理解する。	20分
第8回	高齢者の運動処方 課題レポート作成	
	【予習】これまでの講義を踏まえ、興味・関心のある課題を考える。	30分
	【復習】期末課題のレポートを作成する。	240分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	講義内容を充分理解し、課題レポートの内容が90%以上まとまっている。	講義内容を理解し、課題レポートの内容が80%~90%まとまっている。	講義内容をおおよそ理解し、課題レポートの内容が70%~80%まとまっている。	講義の概要をおおよそ理解し、課題レポートの内容が60%~70%まとまっている。	講義内容に不理解箇所が多く、課題レポートの内容が60%以下のまとまりである。
LO-2	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして積極的な関心を持ち、自分の改善策を具体的にレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして積極的な関心を持ち、自分の改善策をレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして関心を持ち、改善策をレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして関心を持ち、レポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題をレポートすることができる。
LO-3	課題レポートにおいて健康や体力に関する諸課題に対して、知識や情報を深く分析して考察することができる。	課題レポートにおいて健康や体力に関する諸課題に対して、知識や情報を分析して考察することができる。	課題レポートにおいて健康や体力に関する諸課題に対して、考察することができる。	課題レポートにおいて健康や体力に関する諸課題に対しての情報や考察が不十分である。	課題レポートにおいて健康や体力に関する諸課題に対しての情報収集が誤ってなされている。
LO-4	健康や体力に関する諸課題を解決するのに必要な情報を収集・分析・整理し、自らの思考判断のプロセスを論理的にレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を解決するのに必要な情報を収集・分析・整理し、自らの思考判断のプロセスをレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を解決するのに必要な情報を収集し、自らの思考・判断をレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を解決するのに必要な情報が不足しているが、自らの考えをレポートすることができる。	健康や体力に関する諸課題を解決するのに必要な情報が不足している。
LO-5					

授業科目名	健康スポーツ（バドミントン）			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）の技術の向上を図るとともに、バドミントンのゲームを楽しめ、審判もできるといったレベルを目指します。これまでの運動経験から受講生の技術に差があると予想されますが、レベル別のグルーピングや課題を設ける予定です。スポーツが苦手な人でも実践の中で大切な役割があるものです。お互いのレベルを認め合い、「皆で楽しむ」ことをテーマに工夫する能力も養いたいと思います。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、バドミントン								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	バドミントンのルールや審判法を理解し、一人でゲームを進行できる。								
LO-2	バドミントンの基本ストロークをゲームに応用できる。								
LO-3	自分で計画した運動内容、実施結果を分析し、考察できる。								
LO-4	健康の維持・増進や体力の向上に関心が高く、バドミントンに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意して練習・ゲーム等を行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	グループ活動において人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し安全で楽しい活動に取組める。バドミントンに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10			90			100
LO-1						20			20
LO-2						30			30
LO-3			10						10
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査、班編成、ストレッチ、トレーニング、ラケット・シャトルの扱い	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。セルフモニタリングシート（期日、予習としてのトレーニング内容、セルフ評価などを記入）の様式を作成する。	45分
第2回	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第3回	基本ストローク半コートシングルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第4回	ダブルスゲームと審判方法	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第5回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第6回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第7回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第8回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第9回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第10回	シングルのゲームとレベル別班編成	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分

第11回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第12回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第13回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第14回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】セルフモニタリングシートのまとめとして反省の総括、体の変化、運動継続の秘訣などを記したレポートを作成する。	30分
	【復習】セルフモニタリングシートのまとめとして反省の総括、体の変化、運動継続の秘訣などを記したレポートを作成する。	30分
第15回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】セルフモニタリングシートにレポートを加え、全てのシートを確認し、提出する。	5分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	バドミントンのルールや審判法を深く理解し、ゲームを一人での確に進行できる。	バドミントンのルールや審判法を理解し、一人でゲームを進行できる。	バドミントンのルールや審判法を理解し、人の助けを得ながらゲームを進行できる。	バドミントンのルールや審判法の理解不足があるが、人の助けを得てゲームを進行できる。	バドミントンのルールや審判法を理解していない。
LO-2	技能が高く、ゲームへの応用やペアとの協調性に優れている。	バドミントンの基本ストロークをゲームに応用できる。	バドミントンの基本ストロークの一部をゲームに応用できる。	バドミントンの基本ストロークのゲームへの応用が不十分である。	バドミントンの基本ストロークが不十分である。
LO-3	自分で計画した運動内容、実施結果を論理的に分析し考察できる。	自分で計画した運動内容、実施結果を分析し考察できる。	自分で計画した運動内容、実施結果を考察できる。	自分で計画した運動内容、実施結果の考察が不十分である。	レポート課題が未提出
LO-4	体調管理を適切に行い、バドミントンの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	バドミントンの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	バドミントンの技能獲得に意欲的に取り組むことができる。	バドミントンの授業全般に受身の態度が見られる。	バドミントンの授業全般に消極的である。
LO-5	仲間と協調するとともに、リーダーシップを発揮し、安全で楽しい活動に取組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。	仲間との協調性に欠ける面があるが、活動に取組める。	仲間との協調性に欠け、活動に取組めない。

授業科目名	健康スポーツ（ゴルフ）			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真 大門 信吾					
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費8,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO1（ルール、マナーの理解）、LO2・LO3（基礎技能と応用パフォーマンス）、LO4・LO5（授業における意欲・態度や仲間との協力）								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査（学内教室）	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×実習までの10日間） レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	ルールやマナーを深く理解し、ラウンドへの対応が優れている。	ルールやマナーを理解し、ラウンドへの対応ができる。	ルールやマナーの指導を受けながらラウンドへの対応ができる。	ルールやマナーへの理解が不十分である。	ルールやマナーを理解していない。
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットのミート率が高い。	ショートアイアンでの基本的ショットができる。	ショートアイアンでの基本的ショットが多少不安定である。	ショートアイアンでの基本的ショットが不安定である。	ショートアイアンでの基本的ショットができない。
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブでのショットができ、ミート率も高い。	自らのスイングを分析し、用意されたクラブでのショットができる。	用意されたクラブでのショットが多少不安定である。	用意されたクラブでのショットが不安定である。	用意されたクラブでのショットができない。
LO-4	体調管理を適切に行い、ゴルフの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	ゴルフの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	ゴルフの技能獲得に意欲的に取り組むことができる。	ゴルフの授業全般に受身の態度が見られる。	ゴルフの授業全般に消極的である。
LO-5	仲間と協調するとともにリーダーシップを発揮し、安全で楽しい活動に取り組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。	仲間との協調性に欠ける面があるが、活動に取り組める。	仲間との協調性に欠け、活動に取り組めない。

授業科目名	健康スポーツ（スノースポーツ）			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真 大門 信吾					
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ(テニスコース) 生涯スポーツ(ゴルフコース) 体育講義								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費20,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ スキー スノーボード 集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO 1 (ルール、マナーの理解)、LO2・LO3 (基礎技能と応用パフォーマンス)、LO4・LO5 (授業における意欲・態度や仲間との協力)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。(スキー場での事前滑降を推奨する)	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを深く理解し、自主的に対応できる。	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。	実習における用具の管理やマナーの指導を受けて対応ができる。	実習における用具の管理やマナーが不十分である。	実習における用具の管理やマナーができていない。
LO-2	滑降に関する基本的な技能レベルが高い。	滑降に関する基本的な技能ができる。	滑降に関する基本的な技能が一部不十分である。	滑降に関する基本的な技能が不十分である。	滑降に関する基本的な技能が全くできない。
LO-3	実習における技術の獲得能力が高く、滑降や斜面にうまく応用し、安全で楽しい活動ができる。	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。	実習中に獲得した技能を滑降や斜面に応用する能力が弱い、安全に活動ができる。	実習中に獲得した技能が不十分で安全で楽しい活動に難がある。	実習中に獲得した技能が不十分で安全で楽しい活動ができない。
LO-4	体調管理を適切に行い、スノースポーツの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	スノースポーツの技能獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。	スノースポーツの技能獲得、安全性やマナーなどに取り組むことができる。	スノースポーツの授業全般に、受身の態度が見られる。	スノースポーツの授業全般に消極的である。
LO-5	仲間と協調するとともにリーダーシップを発揮し、安全で楽しい活動に取組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。	仲間との協調性に欠ける面があるが、活動に取組める。	仲間との協調性に欠け、活動に取組めない。

授業科目名	健康スポーツ（ゴルフ）			科目コード	W531-12				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真 大門 信吾					
開講時期	2年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費8,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO1（ルール、マナーの理解）、LO2・LO3（基礎技能と応用パフォーマンス）、LO4・LO5（授業における意欲・態度や仲間との協力）								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査（学内教室）	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×実習までの10日間） レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	ルールやマナーを深く理解し、ラウンドへの対応が優れている。	ルールやマナーを理解し、ラウンドへの対応ができる。	ルールやマナーの指導を受けながらラウンドへの対応ができる。	ルールやマナーへの理解が不十分である。	ルールやマナーを理解していない。
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットのミート率が高い。	ショートアイアンでの基本的ショットができる。	ショートアイアンでの基本的ショットが多少不安定である。	ショートアイアンでの基本的ショットが不安定である。	ショートアイアンでの基本的ショットができない。
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブでのショットができ、ミート率も高い。	自らのスイングを分析し、用意されたクラブでのショットができる。	用意されたクラブでのショットが多少不安定である。	用意されたクラブでのショットが不安定である。	用意されたクラブでのショットができない。
LO-4	体調管理を適切に行い、ゴルフの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	ゴルフの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	ゴルフの技能獲得に意欲的に取り組むことができる。	ゴルフの授業全般に受身の態度が見られる。	ゴルフの授業全般に消極的である。
LO-5	仲間と協調するとともにリーダーシップを発揮し、安全で楽しい活動に取り組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。	仲間との協調性に欠ける面があるが、活動に取り組める。	仲間との協調性に欠け、活動に取り組めない。

授業科目名	健康スポーツ（スノースポーツ）			科目コード	W531-12				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ	担当教員名	立島 真 大門 信吾						
開講時期	2年後期	授業の方法	実技						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	生涯スポーツ(テニスコース) 生涯スポーツ(ゴルフコース) 体育講義								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費20,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ　スキー　スノーボード　集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	LO1（ルール、マナーの理解）、LO2・LO3（基礎技能と応用パフォーマンス）、LO4・LO5（授業における意欲・態度や仲間との協力）								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。(スキー場での事前滑降を推奨する)	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを深く理解し、自主的に対応できる。	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。	実習における用具の管理やマナーの指導を受けて対応ができる。	実習における用具の管理やマナーが不十分である。	実習における用具の管理やマナーができていない。
LO-2	滑降に関する基本的な技能レベルが高い。	滑降に関する基本的な技能ができる。	滑降に関する基本的な技能が一部不十分である。	滑降に関する基本的な技能が不十分である。	滑降に関する基本的な技能が全くできない。
LO-3	実習における技術の獲得能力が高く、滑降や斜面にうまく応用し、安全で楽しい活動ができる。	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。	実習中に獲得した技能を滑降や斜面に応用する能力が弱い、安全に活動ができる。	実習中に獲得した技能が不十分で安全で楽しい活動に難がある。	実習中に獲得した技能が不十分で安全で楽しい活動ができない。
LO-4	体調管理を適切に行い、スノースポーツの技能獲得、安全性やマナー、用具の整理など授業全般に意欲的に取り組むことができる。	スノースポーツの技能獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。	スノースポーツの技能獲得、安全性やマナーなどに取り組むことができる。	スノースポーツの授業全般に、受身の態度が見られる。	スノースポーツの授業全般に消極的である。
LO-5	仲間と協調するとともにリーダーシップを発揮し、安全で楽しい活動に取組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。	仲間と協調し、安全で楽しい活動に取組める。	仲間との協調性に欠ける面があるが、活動に取組める。	仲間との協調性に欠け、活動に取組めない。

授業科目名	英語			科目コード	W551-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	シェリー・スキャンラン 望月 健一					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	なし。					
関連科目	なし。								
資格等 取得との関連	なし。								
授業の概要	<p>望 月：英語の基本的な語彙や表現を学びます。主に福祉の分野のトピックを取り上げ、英語の読解力とコミュニケーション能力の向上をはかります。</p> <p>Scanlan：This class will help students communicate in both written and oral English. Each week students will focus on a different topic of everyday English. (この授業では、学生が英語の書き言葉・話し言葉でコミュニケーションをとることを支援します。毎週、日常生活の中の</p>								
学習目標	<p>望 月：総合的な英語力の向上を目指します。主に福祉の分野で使われる表現を学びます。</p> <p>Scanlan：Students will focus on developing vocabulary and grammar skills. (語彙と文法力を伸ばすことに重点を置きます。)</p>								
キーワード	英語の語彙 文法 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	望 月：プリント使用(園城寺康子・名木田恵理子・柏原洋子・井上麻未『これからの健康的な社会へ』Mindfulness: Developing Personal and Environmental Awareness 南雲堂 2016)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語の基本的な語彙と文法を修得している。また、日常生活や福祉の分野のトピックを通して、日本と外国の文化について理解している。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】日常生活や福祉の分野のトピックに関心を持つことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	30				40			100
LO-1	30	30				20			80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	<p>【成績評価方法】</p> <p>望 月：最終試験 約60%、授業への参加・予習状況 [その他、A] 約40%で評価します。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行います。</p> <p>Scanlan：Grades will be based on inclass work and homework [A] (40%) and a final test (60%). (教室内の活動・宿題 [その他、A] (40%) と最終試験 (60%) によって成績評価を行います。)</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction: what do you do? (イントロダクション、あなたは、どんなことをしていますか？)	
	【予習】 None. (なし。)	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習をする。)	20分
第2回	What do you do? cont./pair interviews (あなたは、どんなことをしていますか？二人ずつペアになって、インタビューをする。)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson. (前回の授業で出された宿題に取り組む。)	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第3回	How often do you.....? (あなたは、・・・ [週に] どれくらいやっていますか？)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第4回	Talking about likes and dislikes (好きなこと、嫌いなことについて)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第5回	Where were you? (以前は、どこで何をしていましたか？)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第6回	Review and activities (復習、教室内の活動)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	120分
第7回	Final test (最終試験)	
	【予習】 Preparation for final test (最終試験の準備)	120分
	【復習】 What do you do?, How often do you.....?, Likes and dislikes, Where were you? (あなたは、どんなことをしていますか？好きなこと、嫌いなことについて。以前は、どこで何をしていましたか？)	60分
第8回	福祉の分野で使用される基本的な語彙・表現：welfare (福祉), the elderly (お年寄り), the aging society (高齢化社会), etc.	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	20分
第9回	「認知症予防のための国際的な取組み」('Global Cooperation to Prevent Dementia') (1) (『これからの健康的な社会へ』 Unit 6)	
	【予習】 Vocabulary Check (語彙の確認)、Reading-1 (本文の読解-1)	40分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。英文の内容を理解する。	20分
第10回	「認知症予防のための国際的な取組み」('Global Cooperation to Prevent Dementia') (2)	
	【予習】 Reading-2 (本文の読解-2)、Comprehension Check (内容理解の確認)、Grammar & Exercises (文法と練習問題)	40分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。英文の内容を理解する。トピックに関して自分の考えをまとめる。	20分

第11回	「認知症予防のための国際的な取組み」('Global Cooperation to Prevent Dementia') (3)	
	【予習】 Listening Practice (聞き取り練習)、Further Practice (図やグラフを見て考える)	40分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。トピックに関して自分の考えをまとめる。	20分
第12回	「包括的な社会の実現に向けて」('Towards a More Inclusive Society') (1) (『これからの健康的な社会へ』 Unit 14)	
	【予習】 Vocabulary Check (語彙の確認)、Reading-1 (本文の読解-1)	40分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。英文の内容を理解する。	20分
第13回	「包括的な社会の実現に向けて」('Towards a More Inclusive Society') (2)	
	【予習】 Reading-2 (本文の読解-2)、Comprehension Check (内容理解の確認)、Grammar & Exercises (文法と練習問題)	40分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。英文の内容を理解する。トピックに関して自分の考えをまとめる。	20分
第14回	「包括的な社会の実現に向けて」('Towards a More Inclusive Society') (3)	
	【予習】 Listening Practice (聞き取り練習)、Further Practice (図やグラフを見て考える)	40分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。トピックに関して自分の考えをまとめる。	20分
第15回	学習のまとめ・評価	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 最終試験に向けて、第8 - 14回の授業で扱った「認知症予防のための国際的な取組み」('Global Cooperation to Prevent Dementia')、「包括的な社会の実現に向けて」('Towards a More Inclusive Society')の復習を行う。	120分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	英語の基本的な語彙と文法を十分に修得している。また、日本と外国の文化についてよく理解している。	英語の基本的な語彙と文法を大体修得している。また、日本と外国の文化について理解している。	英語の基本的な語彙と文法をあまり修得している。また、日本と外国の文化についてある程度理解している。	英語の基本的な語彙と文法をあまり修得していない。また、日本と外国の文化についてあまり理解していない。	英語の基本的な語彙と文法をほとんど修得していない。また、日本と外国の文化についてまったく理解していない。
LO-2					
LO-3					
LO-4	日常生活や福祉の分野のトピックに非常に興味を持つことができる。	日常生活や福祉の分野のトピックに関心を持つことができる。	日常生活や福祉の分野のトピックに少し興味を持つことができる。	日常生活や福祉の分野のトピックにあまり興味を持つことができない。	日常生活や福祉の分野のトピックにまったく興味を持つことができない。
LO-5					

授業科目名	教養演習			科目コード	W591-10				
科目区分	教養科目 - 教養演習		担当教員名	関 好博					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	総合的研究								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	担当教員ごとに少人数を割り振ってのゼミクラス方式を取り入れての学習を進める。基礎的な学習をまず合同でおこなった後、グループに分かれてそれぞれの設けたテーマでの調査をおこない、その結果をもちよっての発表会を開催する。								
学習目標	学生の自発的・主体的な学習意欲の喚起と、教員やクラスメイトとの交流によるチームワークづくり、さらには短大生として求められる基礎的な国語能力の修得など。								
キーワード	導入教育								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	大学生としての基礎的な国語能力と調査に関する知識を習得している。								
LO-2	読み書きや聴き話し、さらには人前での発表に関する力を修得している。								
LO-3	聴く、話すの両面において、その場にふさわしい態度で演習課題に取り組める。								
LO-4	学習意欲や向上心を持ち、自主的・主体的調査研究に必要な学習態度を身につける。								
LO-5	・身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30			70			100
LO-1			30						30
LO-2						30			30
LO-3						15			15
LO-4						15			15
LO-5						10			10
備考	LO-5は担当教員による、発表会までの取り組み方での評価をもとにおこなう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（教養演習のテーマとねらい、過去の発表の様子など）、グループワーク（第一印象、自己紹介）	
	【予習】	0分
	【復習】入学したてでの第一印象と、やがて見えてくるその人らしさ。第一印象は、ややもするとその人にレッテルを貼ることもなりかねません。できるだけ、相手のいい面に目を向けていくように心がけてください。自己紹介のやり方がわかったと思うので、自分の型をもちながら今後の参考にしてみてください。	0分
第2回	演習「他者紹介」、次回の演習の説明（1分間スピーチ）	
	【予習】	0分
	【復習】1分間スピーチのポイントになぞらえて、例文を作成してみました。参考にしてみてください。特に配慮した点は、導入に「つかみ」を置いたところ。そして、一文を短くまとめたところです。一番いいことが終わりにあることにも、ぜひ気づいてください。皆さんも最低1分間しゃべれるように、準備をしてきてください。	0分
第3回	総合的研究の中間発表に向けてのガイダンス、「1分間スピーチ」の発表、次回からの班分けの説明	
	【予習】1分間スピーチを声に出して読んでみる。できれば、誰かに一度聞いてもらう。読みづらい、聞きづらいところがあれば、そこがうまく書けてないという証になる。文章を書くときには、前の分とのつながりをよく確認して書き進むこと。発表は、大きな声で前を向いておこなうこと、はきはきとしたしゃべりを意識すること。	0分
	【復習】	0分
第4回	班別活動：班長の選出、このあとの進め方の説明と新聞記事の冊子の配布、各自で興味を持った記事選び、不明な用語調べ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	前回選んだ新聞記事をもとに発表（記事の要約、選んだ理由など）、発表に対する意見交換、意見を反映させての修正と再発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	班別：グループ内で各自の興味関心あるテーマについて意見交換し、一人ひとり異なるテーマを決定させる。ワークシート配布予定。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	班別：グループでの調査テーマのを決めるために、グループ内で一人ひとり、自分の興味のアルテーマについてプレゼンをおこなう。前回のワークシートを活用。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	班別：調査活動その1	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	班別：調査活動その2	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	班別：調査活動その3	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	班別：調査活動その4	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	班別：調査活動その5	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	班別：調査活動のまとめと報告書の作成、各自レポート作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	発表準備と練習、報告書の印刷製本	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	発表会の開催	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	大学生として十分な国語能力と、調査に関する知識を十分に習得できている	大学生として求められる国語能力と、調査に関する知識を平均以上に習得できている	大学生として適切な国語能力と、調査に関する知識を少なからず習得できている	大学生としての国語能力と、調査に関する知識をあまり習得できていない。	大学生として必要な国語能力と、調査に関する知識を全然習得できていない。
LO-2	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能を十分に備えている。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能を大学生として適切なレベルで備えている。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能をある程度は備えている。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能を、あまり備えていない。	読み書き、聴き話し、そして発表に関する技能が不足している。
LO-3	与えられた課題を正しく理解し、求められる水準に到達した受け答えができている。	与えられた課題を標準以上には理解し、受け答えも求める水準に近いものができている。	与えられた課題を半分近くは理解できており、受け答えも何とか判断できるまでのレベルである。	与えられた課題を少しは理解して、多少なりとも受け答えできている。	与えられた課題をほとんど理解できておらず、受け答えもまったく求めるレベルには達していない。
LO-4	学習意欲や向上心を人並み以上に持ち、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度を十分に身につけている	学習意欲や向上心を一定程度は持ち、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も大学生として納得できるレベルで身につけている	学習意欲や向上心を少なからず持ち、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も最低限度のレベル以上に身につけている	学習意欲や向上心をあまり持たず、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も不十分である。	学習意欲や向上心を全然持たず、自主的・主体的調査研究に携わる学習態度も問題がある。
LO-5	担当教員やグループメンバーと良好なコミュニケーションがとれる。	担当教員やグループメンバーと一定程度は良好なコミュニケーションがとれる。	担当教員やグループメンバーとやや良好なコミュニケーションがとれる。とらうという態度が見て取れる。	担当教員やグループメンバーとあまり良好なコミュニケーションがとれない。十分にとらうしていない。	担当教員やグループメンバーとコミュニケーションがとれない。また、積極的にとらうとしていない。

授業科目名	現代社会と人間			科目コード	X511-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系			担当教員名	樋口 康彦 高木 三郎				
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は、教養総合科目現代社会と人間を参照のこと。								
学習目標	総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「保育と育児」、「情報と経営」、「福祉と介護」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ事柄を学習することによって、人間の生活を総合的に学び、幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。								
キーワード	現代を生きる - 地域との関わりのなかで -、食と健康、保育と育児、情報と経営、福祉と介護								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			35			25		40	100
LO-1			35			25		40	100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	「受講態度 [その他 C] (40%程度)、レポート (35%程度)、感想文 [その他 A] (25%程度) で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	食物栄養学科 講師 山岸 博美 日本の食生活と学校給食の歴史	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第2回	レストラン小西 代表 小西 謙造 1969年北陸初のフランス料理店を開業して	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第3回	経営情報学科 教授 亀澤 祐一 知的自由と図書館	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第4回	南砺市長 田中 幹夫 南砺のまちづくりから日本を考える	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第5回	高岡山瑞龍寺 住職 四津谷 道宏 瑞龍寺とは何か	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第6回	福祉学科 教授 石橋 郁子 「ダブルケア」について考えてみよう	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第7回	幼児教育学科 教授 赤川 雅和 文学に見る子ども観	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分
第8回	経営情報学科 教授 安達 哲夫 富山短大54年の歴史をたどる	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	0分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	0分

学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1					
LO-2					
LO-3					
LO-4					
LO-5					